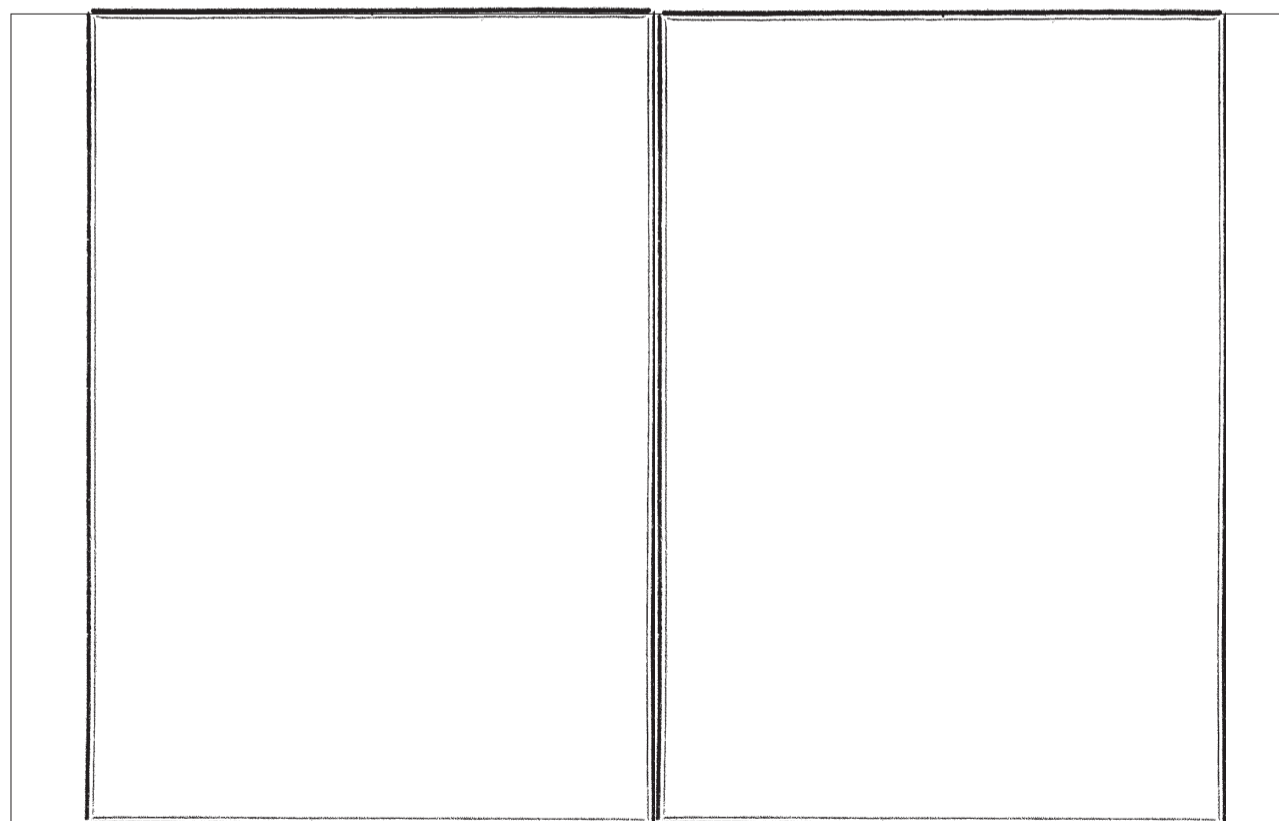
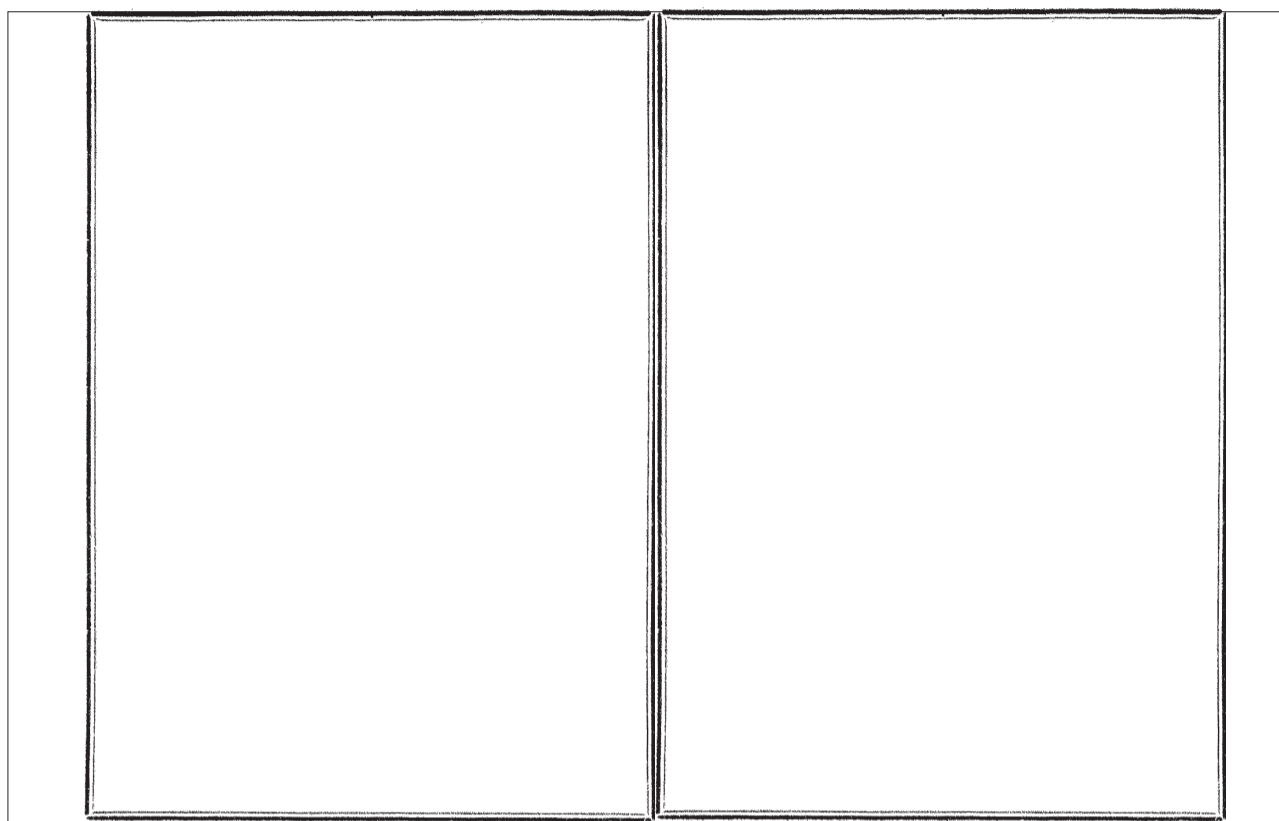


大正六年民團事務報告書

附民團財產明細書

天津居留民團



大正六年民團事務報告書目次

第一 庶務部

- 一、行政委員 一
- 二、出納検査委員 一三
- 三、諸規則の制定及改廢 一三
- 四、拂下官有地引渡の件 一九
- 五、電燈料値下の件 一九
- 六、貸下地料免除の件 二一
- 七、胡同拂下及貸下の件 二一
- 八、民團創立十週年紀念祝賀會 二二
- 九、居留地空前の洪水 二二
- 一〇、臨時居留民會の開會 二二
- 一一、謝意表彰 二二
- 一二、行政委員會議長及理事長の出張 二二
- 一三、火葬場管理權移轉の件 二二
- 一四、巡捕の増員 二二
- 一五、巡捕休憩所の移轉 二二

第二 財務部

- 一六、吏員賜暇歸朝 三五
- 一七、吏員及雇員の異動及現在員 三五
- 一、出納検査 三七
- 二、第二回團債借入の件 三七
- 三、豫備費支出に關する件 三八
- 四、人力車鑑札料不足額并に利益配當の要求及水道公司配當金の受領 三八
- 五、土地、家屋、營業課金の徵收 三九
- 六、墓地監守及掃除人手當支給の件 三九
- 七、排水費の國庫補助 三九
- 八、土地、家屋、取得、營業、雜種課金負担者數 四〇
- 九、大正六年度居留民團歳入出豫算 四七
- 一〇、大正六年度特別會計官有地拂下準備金歳入出豫算 六〇
- 一一、大正六年度特別會計天津神社建築費歳入出豫算 六一

第三 學務部

- 一、天津尋常高等小學校 六一

第四 土木部

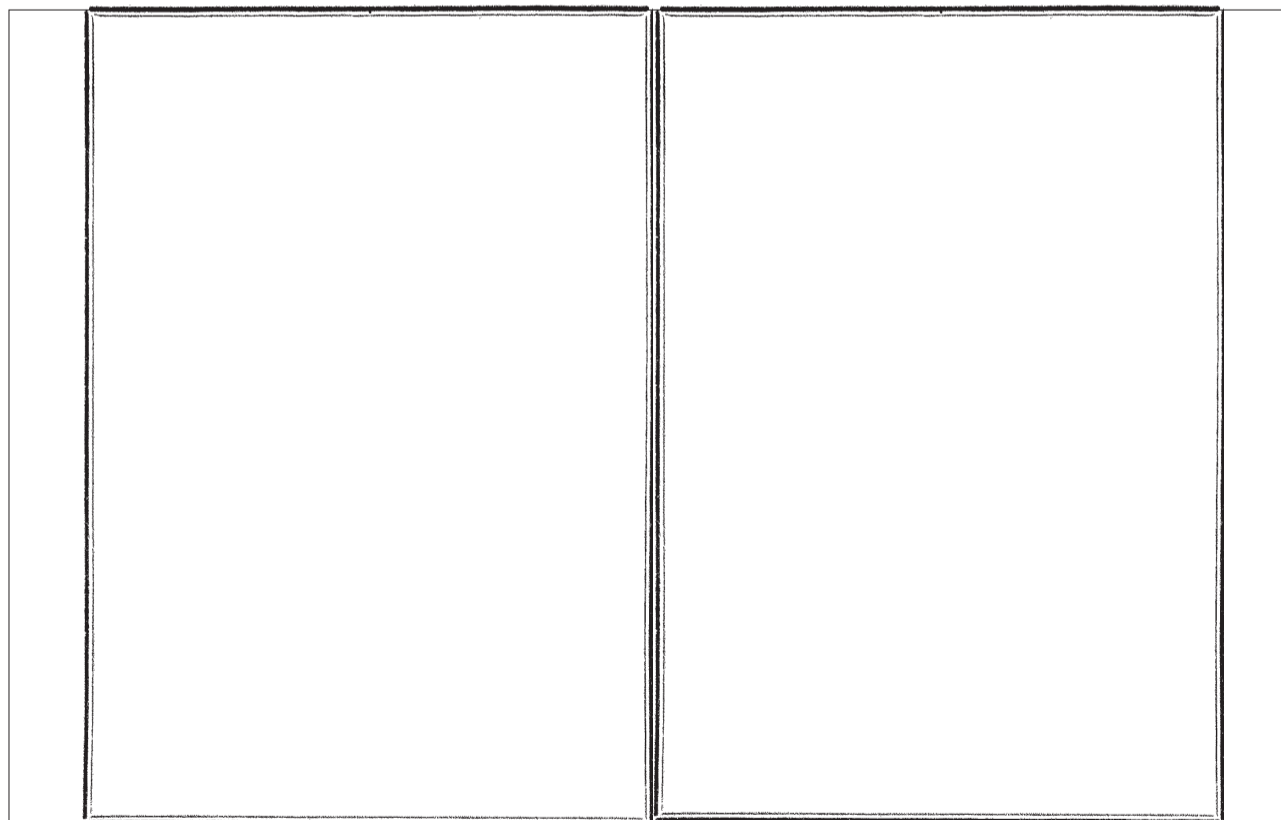
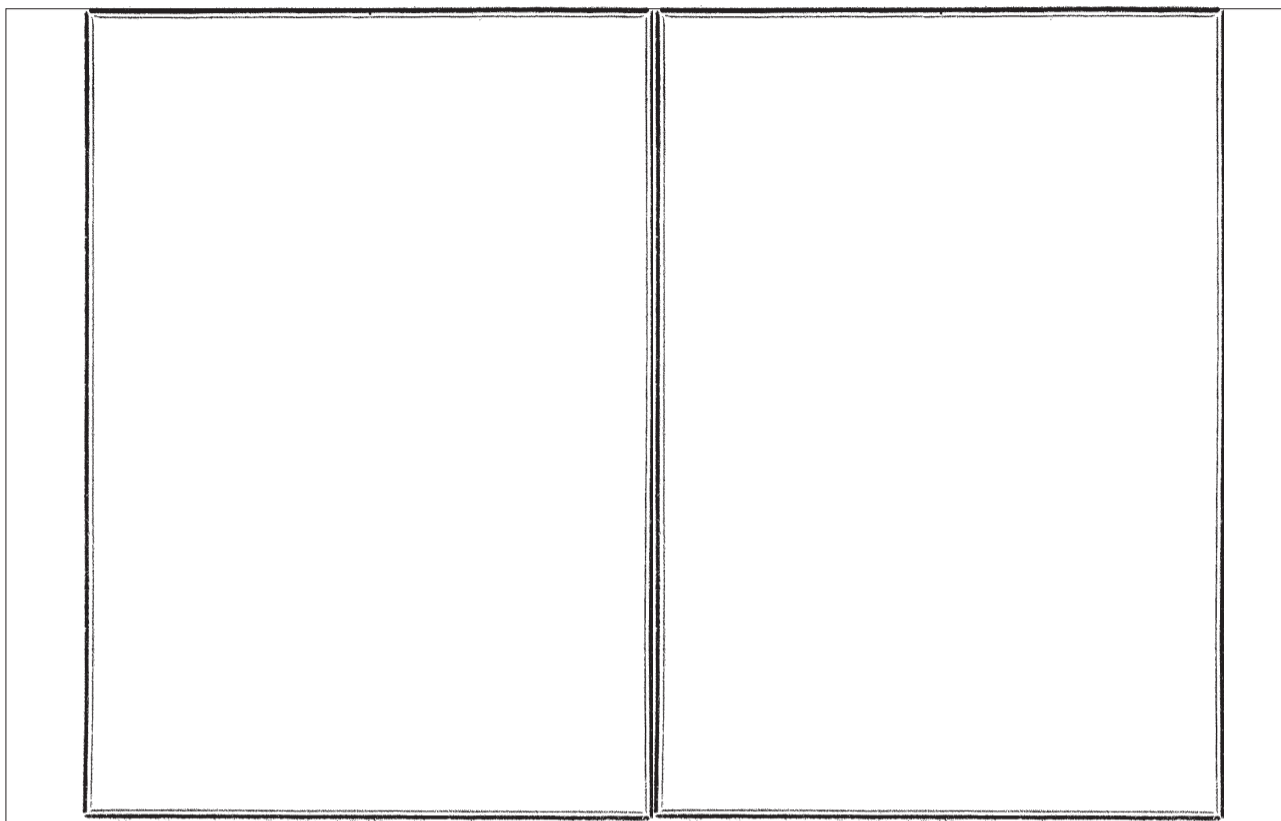
- 二、日本圖書館 六五
- 一、周壁利用に關する件 六七
- 二、撒水區域 六七
- 三、道路補修工事 六七
- 四、街樹の補植 六八
- 五、下水溝築造工事 六八
- 六、福島街暗渠築造工事 六八
- 七、天津小學校分校舎建築工事 六八
- 八、大和公園 六九

第五 衛生部

- 一、傳染病患者 七〇
- 二、傳染病室の開設 七〇
- 三、清潔法施行 七五
- 四、種痘施行 七六
- 五、野犬捕殺 七七
- 六、傳染病室の修繕 七七

- 七、水道水の検査 七八
- 八、水道給水量 七八
- 附録 八〇

目次終



天津居留民團事務報告

明治四十年九月九日領事館令特第一號第十九條の規定に遵ひ大正六年一月より同十二月に至る一ヶ年間に於ける本民團事務の概要を報告すること左の如し

第一 庶務部

(一) 行政委員

昨年三月改選の行政委員は本年三月二十四日開會の居留民會に於て改選せられたるか
 今年中に於ける議長、議長代理者、會計主任、行政委員及豫備行政委員を擧ぐれば
 左の如し

議長 鈴木敬親 大正五年十二月就任、大正六年三月任期満了
 鈴木敬親 大正六年三月重任
 議長代理者 西村博 大正五年三月就任、大正六年三月任期満了
 原田俊三郎 大正六年三月就任
 會計主任

(1)

(2)

行政委員

西本茂吉 大正五年三月就任、大正六年三月任期満了
 岡田三郎 大正六年三月就任
 鈴木敬親 大正五年三月重任、大正六年三月任期満了
 西木茂吉 全上
 富成一二 全上
 吉田房次郎 全上
 山元藏吉 大正五年三月就任 全上
 大村得太郎 全上
 西村博 大正五年三月重任 全上
 橋本信一 大正五年三月就任、大正六年二月辭任
 原田俊三郎 大正五年九月上任、大正六年三月任期満了
 福本順三郎 大正五年十一月上任、大正六年一月辭任
 鄭永昌 大正六年一月上任、大正六年三月任期満了
 冲田介次郎 大正六年二月上任 全上
 最上國藏 大正六年三月就任 全上
 深野志磨 全上
 岡田三郎 全上

(3)

(4)

富成一二 大正六年三月重任
 鈴木敬親 全上
 西村博 全上
 原田俊三郎 全上
 吉田房次郎 全上
 西本茂吉 全上
 秋田貞吉 大正六年三月就任
 豫備行政委員
 野澤三郎 大正六年三月當選、大正六年九月歸朝
 三雲申一 全上 大正六年九月歸朝
 亘新七 全上
 大村得太郎 全上 大正六年七月歸朝
 山元藏吉 全上
 行政委員會執務章程第十一條の規定に依り本年中委員の事務を分担すること左の如し

鄭永昌 大正六年一月より大正六年三月迄
 最上國藏 大正六年四月より
 岡田三郎 全上
 西村博 大正五年四月より大正六年三月迄
 山元藏吉 大正五年四月より大正六年三月迄
 西村博 大正六年四月より
 深野志磨 全上
 岡田三郎 全上
 吉田房次郎 大正五年四月より大正六年三月迄
 大村得太郎 全上
 原田俊三郎 大正六年四月より
 秋田貞吉 全上
 最上國藏 全上
 富成一二 大正五年四月より大正六年三月迄

橋本信一 大正五年四月より大正六年二月迄
 冲田介次郎 大正六年二月より大正六年三月迄
 富成 一 二 大正六年四月より
 吉田房次郎 全 上
 西本茂吉 全 上

本年中に於ける行政委員會開會數は二十六回臨時行政委員會一回にして外に特別委員會二回、回覽決議十四回なり其決議事項左の如し

- 一、新規營業課金負担等級決定の件
 - 一、新規取得課金負担等級決定の件
 - 一、新規雜種課金負担等級決定の件
 - 一、在留届及營業開廢届取扱方に關し總領事館へ申請の件
 - 一、豫備費支出認可申請の件
 - 一、大正四年度居留民團歲入出決算報告の件
 - 一、大正四年度新道開修工費特別會計歲入出決算報告の件
 - 一、特別基金決算報告の件
 - 一、臨時傳染病室開始の件
 - 一、電車公可電流使用願に關する件
 - 一、民團吏員規程中改正案
- 議長會計主任委任

- 一、天津尋常高等小學校學則中改正案
- 一、天津尋常高等小學校職員給與規則中改正案
- 一、天津居留民團立天津尋常高等小學校教員俸給支給規程中改正申請案
- 一、道路敷地買上願出に關する件 (清水幸三郎提出)
- 一、圖書館評議員選任の件
- 一、大正六年度營業課金負担等級決定の件
- 一、大正六年度取得課金負担額決定の件
- 一、民團吏員規程中改正の件
- 一、家屋課金負担額決定の件
- 一、土地課金負担額決定の件
- 一、官有地拂下準備金特別會計條例案
- 一、大正六年度特別會計官有地拂下準備金歲入出豫算案
- 一、官有地拂下代金年度割支出の件
- 一、大正六年度特別會計天津神社建築費歲入出豫算案
- 一、特別基金處理に關する件
- 一、慈善基金規則廢止の件
- 一、民會議員名簿登錄の件

(6)

(5)

(8)

(7)

- 一、電燈料金改正値下に關する認可願の件
- 一、大正六年度居留民團歲入出總豫算案
- 一、地代免除願の件
- 一、豫備費支出認可申請の件
- 一、道路整理に關する條例案
- 一、役員互選の件
- 一、事務分担の件
- 一、臨時傳染病室開始の件
- 一、議長辭任の件
- 一、植松公立學校長辭任申出の件
- 一、小學校生徒入學に關し學校長より伺出の件
- 一、新規取得課金負担等級決定の件
- 一、新規營業課金等級決定の件
- 一、小學校教員昇級の件
- 一、民團十年紀念祝賀會舉行に關する件
- 一、小學校教室新築に關する件
- 一、福島街暗渠埋設に關する件
- 一、山口街道路修繕に關する件

- 一、蓬萊街下水溝築造費支出の件
- 一、清水幸三郎申請に係る道路敷地買上に關する件
- 一、中間道路に關する方針決定の件
- 一、臨時傳染病室開始の件
- 一、福島街暗渠埋設の件 (特別委員會)
- 一、蓬萊街下水溝築造の件 (全 上)
- 一、中間道路に關する方針決定の件 (全 上)
- 一、小學校分校舍新築仕様に對する疑義諮詢の件 (全 上)
- 一、空閑書記調査囑託手當支給の件
- 一、避難院及火葬場に關する調査囑託の件
- 一、天津小學校生徒修學旅行の件
- 一、傳染病室開設に關する取扱の件
- 一、下水溝起工に關する件
- 一、第四號豫定道路に關する件
- 一、大文洋行所有地煉瓦塀築造に關し希望申出の件
- 一、公會堂貸與規則中改正案
- 一、公會堂貸與規則に關し議長に委任の件
- 一、田村多吉出願土地拂下の件

(10)

(9)

一、大塚技手辭職の件	承
一、土木技師採用の件	可
一、赤山技師昇級の件	可
一、赤山技師辭職の件	承
一、天津小學校教員教育觀察并に講演會派遣に關する件	可
一、怡豐洋行出願下水道設置の件	可
一、中間道路及豫定道路に關する報告の件	承
一、雇員増俸の件	可
一、消防小頭表彰の件	可
一、胡同拂下出願の件 (田村多吉提出)	宿
一、避病院敷地拂下出願の件	委員附託
一、小學校分校舍棟上式酒肴料支出の件	可
一、小貫慶治氏寄附金處分の件	可
一、員塚技師仕度料支給の件	可
一、會計主任代理者選定の件	可
一、田村多吉出願官地拂下に關する件	可
一、駐屯軍火藥場貸下に關し經理部より内交渉の件	可
一、小學校教員増俸の件	決

一、民國所有地理立に關する件	可
一、一號道路以南市街地計畫に關する件	委員附託
一、民國創立十週年紀念祝賀會舉行の件	修正可決
一、民國十週年紀念祝賀會接待費豫定額變更の件	可
一、避病院敷地拂下出願に關する件 (特別委員會)	可
一、租界内下水工事計畫に關する件 (全 上)	宿
一、中間道路位置決定の件 (全 上)	決
一、一號道路以南市街地計畫及天津神社建設位置に關する件 (全 上)	問題
一、避病院敷地拂下に關する件	可
一、中間道路位置決定の件	可
一、租界内工場建設區域に關し諮問の件	再
一、公會堂其他火災保險契約に關する件	可
一、新規取得課金負担額決定の件	可
一、堤防開鑿及木橋架設許可に關する照會の件	可
一、第五號道路位置變更の件	可
一、田中理事歸朝の序を以て調査事項囑託の件	可
一、小學校分校舍建築費不足額處分の件	可
一、兒童運動場均らし盛土工事施行の件	可

(12)

(11)

一、出水に際し汚物處置の件	可
一、飲料水の給與及保護	可
一、電燈代用要求の件	可
一、臨時義勇團を組織する件	可
一、防波に關する特別功勞者記憶の件	可
一、臨時雇若手名採用の件	可
一、船舶船屋入及買入の件	可
一、物價調節に關し總領事に申請の件	可
一、傳染病豫防及死亡者措置に關する件	可
一、水害善後策研究の件	可
一、教育機關回復を圖る件	可
一、小學校授業開始に關する件	可
一、租界局備員採用の件	可
一、防波委員選定の件	可
一、居留地救済に就き政府の援助方依頼書發送の件	可
一、小學校教室臨時仮設の件	可
一、秋山街堤防築造に關する件	可
一、浸水箇處排水區域決定の件	決

一、小學校仮教室一部變更の件	可
一、緊急の必要に充つる爲一時借入金爲すの件	可
一、排水委員會設立の件	可
一、排水工事豫算案	可
一、電話公司の照會に係る地下線埋設の件	可
一、防水及排水工事に關する事後承諾を求むる件	可
一、行政委員會に委任の件	可
一、災害地域課金減免條例案	可
一、臨時民會召集を總領事に申請の件	可
一、大日本租界局臨時事務取扱所開設の件	可
一、技手雇入の件	可
一、林公使其他に對し感謝の意を表する件	可
一、排水委員會事務を行政委員會に繼承の件	可
一、山口街道路修繕の件	可
一、北京及大連へ特派派遣の件	可
一、加藤山崎兩氏に對し謝意表彰の件	可
一、三條技手仕度料支給の件	可
一、吏員及教員宿舍修理の件	決

(13)

一、新規營業課金負担等級決定の件 修正可決
 一、新規取得課金負担額決定の件 可決
 一、日支人負担に係る諸課金減免の件 議長委任
 一、吏員雇員及教員年未賞與の件 可決
 一、吏員雇員及教員に對し水害救済の盡力に因る特別手當の件 可決
 一、巡捕年未賞與の件 可決
 一、川島雇員昇級の件 可決
 一、上原臨時雇員解雇の件 可決
 一、臨時民會の決議に依る排水及救護に盡力せる諸氏に謝意表彰の件 可決
 一、排水盡力者に對する寄附金受領の件 可決
 以上は行政委員會決議事項の重なるものにして事務上に關する協議及出水の際に於ける連日の會議に於て議決したる事項尠なからざるも茲に省畧す

(二) 出納検査委員
 大正六年三月二十四日開會の居留民會に於て選舉したる出納検査委員は左の如し
 土井米市、中山秀一、遠山猛雄

(三) 諸規則の制定及改廢

(14)

本年中居留民會及行政委員會に於て議決し總領事の認可を得て發布したるもの左の如し

(一) 民團吏員規程中改正の件

民團吏員規程中左の通り改正す

一、第七條中第十三級の次に左の二項を加ふ
 第十四級上俸 四拾五弗 下俸四拾弗
 第十五級上俸 參拾五弗 下俸參拾弗

一、第十四條を左の通り改む
 第十四條吏員滿三ヶ年以上誠實ニ勤務シ自己若シハ行政委員會ノ便宜ニヨリ退職又ハ解職シタルトキハ勤績慰勞金ヲ給與ス

一、第十七條の次に左の一條を加ふ
 第十八條吏員在職中死亡シタルトキハ最終ノ俸給三ヶ月分ヲ祭祀料トシテ其遺族ニ給與ス

一、第十八條以下順次繰下く
 在職中特ニ功勞アリト認メタル者ニハ前項ノ外勤績年數ヲ斟酌シ俸給三ヶ月以内ノ慰勞金ヲ給與ス

一、第二十三條中第十六條の下に「第十八條第二十一條及第二十三條」の十五字を加へ「第二十條及第二十二條」の十字を削除す

(15)

天津尋常高等小學校學則中改正の件

天津尋常高等小學校學則中左の通り改正す

一、第二十九條に左の但書を加ふ
 但十五日以後入學シタルトキハ其半額ヲ月未迄ニ納入スヘシ

一、第三十一條第三號中第二十條とあるを「第十八條」と改む

(ハ) 天津尋常高等小學校職員給與規則中改正の件

天津尋常高等小學校職員給與規則中左の通り改正す

一、第三條第一號中一弗以上三弗以下とあるを「五弗以下」と改む

一、同條第一號の次に左の一項を加ふ
 二、負傷若シハ疾病ニ因リ其職務ニ堪ヘズ退職シタル者ニハ第四條ニ掲ケタル慰勞金ノ外特別手當トシテ退職當時ノ俸給手當ノ三ヶ月分ヲ給ス

一、同條第二號を左の通り改む
 三、死亡者ニハ第四條ニ掲ケタル慰勞金ノ外死亡當時ノ俸給手當三ヶ月分ヲ弔慰金トシテ其遺族ニ給ス

本項ニ定メタル弔慰金ハ領事館令第十四號小學校教員俸給支給規程第八條ノ給與ヲ受ケルコトヲ妨ケス

(16)

一、第四條を左の通り改む

第四條在職中特ニ功勞アリト認メタル教員ニハ最後ニ受ケタル俸給手當ノ三ヶ月以内ノ慰勞金ヲ給シ勤績年限三ヶ年以上ハ一年ヲ増ス毎ニ俸給手當ノ一ヶ月分ヲ加フ

前項ノ場合ニ於テ本人死亡シタルトキハ其遺族ニ給ス

(ニ) 慈善基金廢止の件
 一、明治四十二年四月十二日發布の慈善基金規則は大正六年四月一日限り之を廢止す

(ホ) 道路敷地買收條例設定の件
 一、道路敷地買收に關する條例を左の通り設定す

道路敷地買收條例

第一條 天津日本專管居留地域内ノ道路敷地ニ當ル土地ハ其必要ニ應シ本條例ニヨリ天津居留民團之ヲ買收ス

第二條 天津居留民團ハ前條ノ土地所有者ニ對シ十ヶ年賦ヲ以テ其土地代金ヲ償却ス

第三條 土地ノ價格評定ハ行政委員及行政委員會ノ選定シタル三名ノ評價人之ヲ行フ

<p>第四條 土地代金ハ年賦償却証券ヲ以テ土地買收ノ際之ヲ交付ス</p> <p>第五條 年賦償却金ハ毎年九月三十日天津居留民團ノ指定シタル銀行ニ於テ之ヲ支拂フ</p> <p>第六條 年賦償却証券ハ讓渡又ハ質權ノ目的ニ使用スルコトヲ妨ケス</p> <p>第七條 本條例ハ大正六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス</p> <p>(ハ) 碼頭條例中追加の件</p> <p>一、本條例ノ料金ハ當分ノ内行政委員會ノ決議ヲ以テ其一部若クハ全部ヲ免除スルコトアルヘシ</p> <p>(ト) 災害地域課金減免條例設定の件</p> <p>一、災害地域課金減免に關する條例を左の通り設定す</p> <p>災害地域課金減免條例</p> <p>第一條 水災ニ因リ損害ヲ被リタル者ニハ本人ノ申請ニ依リ被害ノ實況ヲ審査シ左ノ區別ニ從ヒ課金ヲ減免ス</p> <p>一、土地課金負擔者ニシテ浸水ニ因リ土地ノ使用ヲ休止シタル者ニハ大正六年度第三期ノ課金ヲ全免ス</p> <p>二、家屋課金負擔者ニシテ浸水ニ因リ其家屋ニ住居シ能ハス又ハ貸家ニシテ家賃ヲ徴收シ能ハサルニ至リタル者ニハ其期間内ニ於ケル課金ヲ免除ス但排水完成後一ヶ月ヲ經タルトキハ免除ノ限リニ在ラス</p> <p>三、取得課金負擔者ニシテ水害ニ因リ取得旨無ニ至リタル者ニハ其期間内ニ於ケル課金ヲ免除ス</p> <p>四、營業課金負擔者ニシテ店舗若クハ營業所ニ浸水シ營業ヲ休止シタル者ニハ排水完成ニ至ル迄ノ期間内ニ於ケル課金ヲ免除ス</p> <p>店舗若クハ營業所ニ浸水スルモ營業ヲ休止セザル者ニハ前項ノ期間内ニ於ケル課金ヲ半減ス</p> <p>五、雜種課金負擔者ハ本條例第四號ノ例ニ依ル</p> <p>第二條 使用料及手数料ハ本人申請ノ有無ニ拘ハラズ浸水期間内ニ限リ其徴收ヲ中止ス</p> <p>第三條 本條例第一條第二號乃至第五號ニ掲ケタル期間ノ認定及被害程度ノ審査ハ行政委員會ニ一任ス</p> <p>第四條 本條例第一條ニ掲ケタル期間ノ計算ハ大正六年九月二十三日出水ノ當日ヨリ之ヲ起算ス</p> <p>第五條 本條例第一條ニ掲ケタル申請ハ大正六年十二月十五日迄ノ期間内ニ租界局ニ提出スヘシ</p> <p>(チ) 官有地拂下準備金特別會計條例設定の件</p>	<p>第一條 水災ニ因リ損害ヲ被リタル者ニハ本人ノ申請ニ依リ被害ノ實況ヲ審査シ左ノ區別ニ從ヒ課金ヲ減免ス</p> <p>一、土地課金負擔者ニシテ浸水ニ因リ土地ノ使用ヲ休止シタル者ニハ大正六年度第三期ノ課金ヲ全免ス</p> <p>二、家屋課金負擔者ニシテ浸水ニ因リ其家屋ニ住居シ能ハス又ハ貸家ニシテ家賃ヲ徴收シ能ハサルニ至リタル者ニハ其期間内ニ於ケル課金ヲ免除ス但排水完成後一ヶ月ヲ經タルトキハ免除ノ限リニ在ラス</p> <p>三、取得課金負擔者ニシテ水害ニ因リ取得旨無ニ至リタル者ニハ其期間内ニ於ケル課金ヲ免除ス</p> <p>四、營業課金負擔者ニシテ店舗若クハ營業所ニ浸水シ營業ヲ休止シタル者ニハ排水完成ニ至ル迄ノ期間内ニ於ケル課金ヲ免除ス</p> <p>店舗若クハ營業所ニ浸水スルモ營業ヲ休止セザル者ニハ前項ノ期間内ニ於ケル課金ヲ半減ス</p> <p>五、雜種課金負擔者ハ本條例第四號ノ例ニ依ル</p> <p>第二條 使用料及手数料ハ本人申請ノ有無ニ拘ハラズ浸水期間内ニ限リ其徴收ヲ中止ス</p> <p>第三條 本條例第一條第二號乃至第五號ニ掲ケタル期間ノ認定及被害程度ノ審査ハ行政委員會ニ一任ス</p> <p>第四條 本條例第一條ニ掲ケタル期間ノ計算ハ大正六年九月二十三日出水ノ當日ヨリ之ヲ起算ス</p> <p>第五條 本條例第一條ニ掲ケタル申請ハ大正六年十二月十五日迄ノ期間内ニ租界局ニ提出スヘシ</p> <p>(チ) 官有地拂下準備金特別會計條例設定の件</p>
--	--

<p>一、官有地拂下準備金に對する特別會計條例を左の通り設定す</p> <p>官有地拂下準備金特別會計條例</p> <p>第一條 居留地内官有地拂下準備金ハ特別會計トス</p> <p>第二條 官有地拂下代金納付ノ爲メ準備金ヲ設ケ團債ニ依リ買入レタル金貨ヲ以テ之ニ充ツ</p> <p>第三條 準備金ハ官有地拂下許可ノ日ヨリ滿十ヶ年間ニ毎年拂下代金ノ十分ノ一宛ヲ支出ス</p> <p>第四條 準備金ヨリ生スル利子ハ一般會計ニ編入スルモノトス</p> <p>附 則</p> <p>本條例ハ大正六年四月一日ヨリ施行ス</p> <p>(四) 拂下官有地引渡の件</p> <p>昨年十二月二十日附を以テ總領事館に出願したる居留地内官有地四万一千八百二十七坪九七は價格金貳拾四萬二千三百七拾九圓拾參錢を以テ一月十九日拂下を許可せられ四月一日該地積引渡の手續を了したり</p> <p>(五) 電燈料値下の件</p> <p>東京建會社天津支店は其經營に係る電燈部の業務が漸次好調に赴くを以テ需用者の便宜を計リ三月二日自から進んで電燈料値下げの認可を申請したれば行政委員會は之を審議可決し三月八日附を以テ該申請を認可せり其新舊電燈料の對照左の如し</p>	<table border="1"> <tr> <th>燭 力</th> <th>舊 電 燈 料</th> <th>新 電 燈 料</th> </tr> <tr> <td>十六 燭</td> <td>一弗二〇〇</td> <td>一弗〇五〇</td> </tr> <tr> <td>二十 燭</td> <td>一、四〇〇</td> <td>一、二五〇</td> </tr> <tr> <td>但二十燭光以上の點燈料は貳拾燭光の標準に依り算出す</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>メー ト ル 點 燈 料</th> <th>舊 點 燈 料</th> <th>新 點 燈 料</th> </tr> <tr> <td>一ヶ月の使用電量</td> <td>一キログワット時ノ料金</td> <td>一キログワット時ノ料金</td> </tr> <tr> <td>十キログワット時マテ</td> <td>〇弗三〇〇</td> <td>〇弗二九〇</td> </tr> <tr> <td>二十五同</td> <td>〇、二八〇</td> <td>〇、二八〇</td> </tr> <tr> <td>三十同</td> <td>〇、二八〇</td> <td>〇、二六〇</td> </tr> <tr> <td>五十同</td> <td>〇、二六〇</td> <td>〇、二四〇</td> </tr> <tr> <td>百同</td> <td>〇、二四〇</td> <td>〇、二二〇</td> </tr> <tr> <td>百五十同</td> <td>〇、二四〇</td> <td>〇、二二〇</td> </tr> <tr> <td>二百同</td> <td>〇、二二〇</td> <td>〇、二〇〇</td> </tr> <tr> <td>二百五十同</td> <td>〇、二二〇</td> <td>〇、二〇〇</td> </tr> <tr> <td>二百五十同</td> <td>〇、二〇〇</td> <td>〇、一八〇</td> </tr> <tr> <td>以上</td> <td>〇、二〇〇</td> <td>〇、一八〇</td> </tr> <tr> <td>二百五十同</td> <td>〇、一八〇</td> <td>〇、一八〇</td> </tr> </table>	燭 力	舊 電 燈 料	新 電 燈 料	十六 燭	一弗二〇〇	一弗〇五〇	二十 燭	一、四〇〇	一、二五〇	但二十燭光以上の點燈料は貳拾燭光の標準に依り算出す			メー ト ル 點 燈 料	舊 點 燈 料	新 點 燈 料	一ヶ月の使用電量	一キログワット時ノ料金	一キログワット時ノ料金	十キログワット時マテ	〇弗三〇〇	〇弗二九〇	二十五同	〇、二八〇	〇、二八〇	三十同	〇、二八〇	〇、二六〇	五十同	〇、二六〇	〇、二四〇	百同	〇、二四〇	〇、二二〇	百五十同	〇、二四〇	〇、二二〇	二百同	〇、二二〇	〇、二〇〇	二百五十同	〇、二二〇	〇、二〇〇	二百五十同	〇、二〇〇	〇、一八〇	以上	〇、二〇〇	〇、一八〇	二百五十同	〇、一八〇	〇、一八〇
燭 力	舊 電 燈 料	新 電 燈 料																																																		
十六 燭	一弗二〇〇	一弗〇五〇																																																		
二十 燭	一、四〇〇	一、二五〇																																																		
但二十燭光以上の點燈料は貳拾燭光の標準に依り算出す																																																				
メー ト ル 點 燈 料	舊 點 燈 料	新 點 燈 料																																																		
一ヶ月の使用電量	一キログワット時ノ料金	一キログワット時ノ料金																																																		
十キログワット時マテ	〇弗三〇〇	〇弗二九〇																																																		
二十五同	〇、二八〇	〇、二八〇																																																		
三十同	〇、二八〇	〇、二六〇																																																		
五十同	〇、二六〇	〇、二四〇																																																		
百同	〇、二四〇	〇、二二〇																																																		
百五十同	〇、二四〇	〇、二二〇																																																		
二百同	〇、二二〇	〇、二〇〇																																																		
二百五十同	〇、二二〇	〇、二〇〇																																																		
二百五十同	〇、二〇〇	〇、一八〇																																																		
以上	〇、二〇〇	〇、一八〇																																																		
二百五十同	〇、一八〇	〇、一八〇																																																		

(21)

(六) 貸下地料免除の件
芙蓉街基督教青年會敷地一千零七十五坪貸下地料の免除に關し三月七日附を以て天津基督教青年會代表佐藤三郎より出願ありたるに由り四月一日將來願意(公共事業を目的とする基督教青年會敷地として使用すること)に相違する目的の爲め此の地上の建物を使用する場合を除く条件の下に之を許可せり

(七) 胡同拂下及貸下の件
三月十二日附を以て支那人李文元に扶桑街後方胡同の一部七坪七合七分を又八月二十四日附を以て田村多吉に旭街後方(蘆家莊)舊胡同の一部四坪七合五分を各其願出に因り之を拂下たり又八月二十四日附を以て田村多吉に對し福島街に面せる空地二十九坪五合五分の貸下を許可せり

(八) 民團創立十週年紀念祝賀會
大正六年九月一日は恰も居留民團の創立十週年に相當せるを以て豫定に従ひ總領事并に館員駐屯軍司令官并に將校、郵便局長、小學校職員、民會議員(日本人)支那人董事及租界公共事業に關係を有したる諸氏を招待し全日正午より公會堂に於て左記順序に依り紀念祝賀會を執行せしに來會者頗る多く莊嚴の儀式と簡素なる開宴の下に一同歡を盡して午後四時に至り散會せり但當日式場に於て紀念品として七寶鍍金「ネキタイピン」を來客に贈與の都合なりしも郵便小包延着の爲め九月五日に至り之を配付し

(22)

又紀念史も當日迄に發行の豫定なりしも準備整はず刊行の運びに至らずして延期した

祝賀會舉行順序

- 第一 行政委員會議長開會の辭 (鈴木行政委員會議長)
- 第二 居留民會議長祝辭 (最上居留民會議長)
- 第三 君か代(三唱) (松平總領事)
- 第四 總領事祝辭 (松平總領事)
- 第五 各地方より送附の祝詞及祝電朗讀 (石光軍司令官)
- 第六 萬歳三唱 (石光軍司令官)
- 第七 開宴

(一) 洪水の近因 直隸一帶の諸地方は春來降雨無く田圃の穀菜は凡て禾苗萌芽の儘枯死するの慘狀を呈せしか八月中旬以降各地方反動的霖雨あり諸川の漲溢堤防の決潰多く天津市街は先づ河北一帶に於て北河大清河の出水を受けて淹没し九月中旬に至り御河亦増水の狀あり支那官憲に在ても連りに工を督して堤防の修築に勉めたるも九月二十一日夜梁王莊楊柳鎮間の堤防約十三箇の決潰口を生じ激湍奔騰防くに術無く漸次附近を浸漬し遂に南門外一帶、日、佛、英及舊獨逸租界の各地をして空前の慘況に逢遭せしむるに至りたり

(23)

(二) 日本租界浸水の状況 行政委員會は楊柳鎮方面堤防危險に類すとの警を聞き九月十九日以來連日技師技手を派して其狀況を偵察せしめ決潰の風説あるや二十二日午後相共に租界の周邊を踏査し防水の畫策を爲し二十三日朝に至り海光寺運河の漲水亦々急なるを見急遽多數の人力を派して彈藥庫附近の低處及兵營北角の下水溝を填塞せしめたるか水勢刻一刻に増加し來り危險益々切迫するの狀あるを以て連りに人を増し工を勵まし駐屯軍亦兵の大部を出して之を援くるのみならず遂には撤を居留民各戸に飛ばして出援を促したり此間松平總領事は館員を率ひ租界局に在つて百般の指揮を執り鈴木議長及行政委員の全部は現場に在つて死力を防禦に致せるか二十四日午前三時半に至り之れ等官民徹宵の努力も其効無く遂に租界は福島街接壤の支那街方面より濁水の襲來を受け警鐘亂打急を報するの間も無く約一時間にして租界局前二尺の浸水を示し爾來増水は時々其高度を加へ二十五日に至り漸く其勢を停止するに至れり其水深左の如し

(24)

警察署 三尺五寸
海光寺 五尺

(三) 天津水災救護會の設置 水は瞬間にして襲來せり何人か防禦避難の餘裕あらん皆相共に家財を水中に淹没せしめ策の施さずべきなし租界局警察署憲兵隊は各々船隻を徴發し死力を盡して罹災者及其重要貨物の救護に従ひ其避難所を得る能はざるものは之を公會堂及議事堂に收容す避難者一時二百名を超ゆ二十五日午後松平總領事臨席の下に行政委員會を開き水災に關する救護會を組織し天津水災救護會と命名す其分担事項及人名左の如し

天津水災救護會委員分担事務及人名

委員長	松平恒雄君
副委員長	鈴木敬親君
庶務係	磯邊民彌君
	原田俊三郎君
	鈴木傳一郎君
	本田豊記君
會計係	深野志磨君

(26) (25)

衛生係	給水係	交渉係	通信傳令係	避難者係	防水係	船舶係	賄係
西山銳雄君	秋田貞吉君 黒澤兼次郎君	山崎利男君 山村計三君	池部政次君 高木舜三君	井浦米二君 大川昌義君	森川新吉君 森川照太郎君	内山甚吉君 上原卓夫君	陶田三郎君 上野健藏君
				川島紀久君	正村幸吉君	富成一二君 西村銳雄君	那須倫吉君 西本茂吉君
				赤山今朝治君 赤山今朝治君	貝塚正三君 貝塚正三君		空閑實君 天野健藏君
							川野健藏君 最上國藏君

(28) (27)

<p>(四) 機關の組織は成り救護會の活動は開始せらるる幹部委員は各々義勇隊及有給救護員を指揮し糧食、給水、衛生、避難、警備、會報、慰問等夜を以て日に次ぐ事六十有日、事務の減少に従ひ漸次其本務に復せしも然も終始熱誠事に従ひ救護の實行をして迄末の遺憾無からしめしは亦以て租界が永久に記憶し且感謝すべき事とす</p> <p>水災に對する各方面の同情 天津水災の報北京に達するや林公使は直に同志を集め義助會を組織し蔬菜薪炭等を贈りて其欠乏を補ひ一面檄を四方に傳へて救護を絶叫し且委員を派し親しく慘况を視察せしめ以て具さに母國政府に報告せり其各地より金品の寄贈等多大の同情あるもの一に公使の同情に由來するもの多きに據る今日に至るまで寄贈金品の天津水災救護會に到達せるもの左の如し</p> <p>一 銀二万七千〇六十三弗七十七仙 一 金二万四千五百四十四圓五十八錢 一 白米 二十五叭 一 鐘錶 一千一百六十三個 一 モーターボート 一艘</p> <p>一 麥粉 八十袋 一 小船 拾艘 一 鹽草 九十函</p>		支那人救護係	雜務係	救護係	監督係
		天野健藏君 方根若君 中根若君	天野健藏君 天野健藏君 沖田介次郎君 大村得太郎君 土井米市君	福田三九三君 瀬川侃君 西村博君 田村俊次君	池部政次君 原田俊三郎君 石射猪太郎君

(30) (29)

(五)

一アセチレン燈 十個 一支那綿衣 二百五十着
 其他蔬菜牛肉漬物等四十三口
 天津水災救護會經費の支出 救護會が租界内日支人罹災者救護の爲め支出したる金額左の如し

水災救護會支拂内譯表(自九月二十四日 至十二月二十日)

給料	二、三三七〇
消耗品	一六一、三三二
雜支出	九〇、一六六
設備費	三三六、六一一
賄費	一、三四七、二七〇
支那人救助費	一、四四一、六〇〇
船舶費	二、二二一、七三三
點燈費	一、九四七、〇〇〇
避難所費	四四四、七三三
救護費	二一〇、一九九
	二、六六四、二六六
	七九、二六六

(六)

衛生費	四、六七五、二六六
諸雜費	四、四二九
合計	銀一七、七四〇、七四四(内二弗八拾仙商店歩引)

前項の外未拂金額左の如し

品名	數量	價格
麥粉	九〇袋	二〇九、七〇〇
水害狀況寫眞	一七九枚	四七、九〇〇
白米	一、〇〇〇噸	金八〇四一、〇〇〇
漬物	九四樽	金八七一、〇〇〇
白米及漬物運賃		六八、五四四
合計		銀二五七、六〇〇
		金八九八〇、五四四

排水會の設立并に築堤排水工事費豫算 南運河堤防の決潰するや海河工程局技師長ビンチヨネ氏の畫策に基き支那官憲は人を派して陳唐莊梁王莊間、南楊碼頭小站運河、鹹水沽、新城の各地堤防若くは高地を漸次切開して直隸灣方面に落水せしむべく試みたるも洪水は常に漲落を反覆して毫も減退の状を見ず然も氣節は

(32) (31)

(七)

漸次結水期に接近し今に於て人為的排水法を講せされは遂に居留地は水結の儘越年せざるへからざるの狀勢を示したれば九月三十日排水委員會を組織し以て善後策決行の機關とせり其人及担任事務左の如し

排水委員會人名

會長	松平恒雄君	副會長	鈴木敬親君
一總務部	松平恒雄君	鈴木敬親君	原田俊三郎君
	深野志磨君	高木舜三君	天野健藏君
	川岸文三郎君	西村博君	吉田房次郎君
一會計部	最上國藏君	岡田三郎君	西本茂吉君
一用度部	富成一二君	秋田貞吉君	冲田介次郎君
	清水幸三郎君		
一技術部	伴宣君	臼井忠三君	赤山今朝治君
	櫻井直治君	森野富太郎君	三谷爲吉君
	貝塚正徳君		

此に於て排水委員會は居留地排水の方針に對する有力なる顧問の必要を認め電報を以て滿鐵本社國澤理事長に技師加藤與之吉氏の派遣を請ひ一面排水築堤に關する設計及材料蒐集等の準備に着手したりしか十月五日加藤技師來着し直に居留地内外の浸水狀況を視察し以て其意見を發表せられしかは茲に南門外より海光寺兵營を包括し舊堤防に沿ひ佛國租界に連接すべき堤防築造の議を決し委員會は之に關する設計及材料入夫の供給を担任し駐屯軍は其兵力を以て築堤作業に應援する事となり其築堤排水に要すべき工費の豫算左の如し

排水工事費豫算

一銀委拾九万八千貳百八拾七弗七拾七仙也	
内譯	築堤費
一銀貳拾五萬壹千貳百四拾五弗八拾七仙也	排水費
一銀九萬零八百弗也	維持費
一銀貳萬壹千貳百四拾壹弗五拾仙也	豫備費
一銀貳萬弗也	監督費及諸雜費
一銀壹萬五千弗也	

築堤及排水工事 委員が幾多の困難を排して蒐集せる材料は漸次作業地に到着すへき計畫成り十月九日始めて土糞積立に着手す爾來晝夜兼行工事に勉め十月十

外備支那人三名

第二、財務部

本年中に於ける民団出納検査は五月及九月の二回執行せられ其都度會計主任并に民団關係職員出席し總て違法の出納及違算なきを認めらる

(一) 出納検査

豫て總領事に認可申請中なりし官有地拂下代償還基金として第二回團債借入の件は二月十二日監督官廳の認可を得たるを以て二月十五日橫濱正金銀行天津支店より年利六分五厘十年賦償還の契約にて銀貳拾万六千零貳拾貳拾六仙の借入を爲し即日領事館に於て公正証書の作成を爲したり其償還金額及期日左の如し

- (二) 第二回團債借入の件
 - 第一回目割拂銀一万三千二百二十六仙 支拂期日大正六年八月十五日
 - 第二回目割拂銀一万零三百兩 支拂期日大正七年二月十五日
 - 第三回目割拂銀一万零三百兩 支拂期日大正七年八月十五日
 - 第四回目割拂銀一万零三百兩 支拂期日大正八年二月十五日
 - 第五回目割拂銀一万零三百兩 支拂期日大正八年八月十五日
 - 第六回目割拂銀一万零三百兩 (以下第二十回目割拂に至つて止む)

(38)

(三) 豫備費支出に關する件

大正五年度歳入出豫算中歳出臨時衛生費に不足を生したるに由り一月二十二日及三月八日の兩度に涉り豫備費支出を總領事館に申請し認可を得たり

- 一月二十二日申請
 - 一 銀四百兩也 臨時衛生費
 - 内
 - 一 銀四百兩也 傳染病豫防費
 - 一 銀四百兩也 豫備費支出額
 - 三月九日申請
 - 一 銀四百兩也 臨時衛生費
 - 内
 - 一 銀四百兩也 傳染病豫防費
 - 一 銀四百兩也 豫備費支出額
 - (四) 人力車鑿札料不足額并に利益配當の要求
 - 人力車鑿札料不足額并に利益配當の要求
 - 及水道公司配當金の受領

本年中に於て電車布設契約に依り電車公司に請求したる人力車鑿札料不足額は大正五年十一月より大正六年十二月末までの分銀七千四百二十八兩利益配當は大正五年度分

(40)

(八) 土地、家屋、取得、營業、雜種課金負擔者數

本年十二月末に於ける本民団土地、家屋、取得、營業、雜種課金負擔者數左表の如し

金額	日本人	支那人	計
百兩以上	—	—	—
六十兩以上	—	—	—
五十兩以上	—	—	—
四十兩以上	—	—	—
三十兩以上	—	—	—
二十兩以上	—	—	—
十兩以上	—	—	—
十兩以下	—	—	—
合計	—	—	—

(全) 八〇 六九 七四 一三 一〇三

(39)

の銀八十一兩二十三仙にして天津濟安自來水公司より受領せらるは同株券二十株(額面貳千兩)に對する千九百十六年中の利益配當金壹百五十七兩二十五錢なり

(五) 土地、家屋、營業課金の徴收
大正五年十二月二十二日發布の土地課金條例家屋課金條例及全二十一日發布の改正營業課金は四月一日より其徴收を實施せり

(六) 墓地監守及掃除人手當支出の件
六月以後當地本願寺財團に對し左の條件を以て民団公設墓地監守及掃除人夫料として月額銀七兩を支拂ふことなれり

一、墓地監守を嚴重にし墓地内は常に清潔に洒掃すべし
一、墓地内に遺骨及死体を埋葬せんとする場合は警察署及居留民団許可の有無を調査すべし

(七) 排水費の國庫補助
排水委員會が居留地排水工事決行の議決を爲すに當り行政委員會は之か經費に充る爲め橫濱正金銀行天津支店より一時的借越金を爲したるも民団財政は到底其負担に耐ゆるの餘力を有せざるを以て總領事并に行政委員會議長は國庫補助金の支出に關し當路官憲其他に對し屢々懇請する處ありしか遂に十一月廿一日國庫第二豫備金中より銀參拾九萬八千二百八拾七兩七錢七厘を限り排水工事費所要の金額を支拂ふべきの沙汰に接せり

(42)		(41)	
特等	一等	二等	三等
級	級	級	級
八拾弗以上	六拾弗以上	五拾弗以上	三拾弗以上
二拾五以上	二拾以上	一拾五以上	一拾以上
合	計	計	計
三	二	一	五
支那人	支那人	支那人	支那人
三	二	一	五
計	計	計	計
三	二	一	五

(44)		(43)	
一等	二等	三等	四等
級	級	級	級
六	五	四	三
二	一	合	計
支那人	支那人	支那人	支那人
二	一	三	四
計	計	計	計
二	一	三	四

(46)										(45)										
五	四	三	二	一	等	合	乙	甲	種	合	四	三	二	一	等	合	二	一	等	合
等	等	等	等	等	等	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本
支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人	支那人
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

(48)										(47)									
八	七	六	五	四	三	二	一	等	合	七	六	等	等	等	等	等	等	等	等
遊	理	湯	飲	料	旅	酌	雜	種	業	檢	妓	抱	屋	番	入	出	入	出	入
一八,〇〇〇	一六八,〇〇〇	七二,〇〇〇	一六二,〇〇〇	二,一〇〇,〇〇〇	三九六,〇〇〇	一,〇八〇,〇〇〇	一三,〇九二,〇〇〇	一九,六三〇,〇〇〇	二六,六一六,〇〇〇	二九	二	二	二	二	二	二	二	二	二
六,〇〇〇	一六八,〇〇〇	四八,〇〇〇	一六二,〇〇〇	二,〇六四,〇〇〇	三九六,〇〇〇	一,〇八〇,〇〇〇	一三,三九八,〇〇〇	一九,六六〇,〇〇〇	二六,六一六,〇〇〇	經常部豫算高	臨時部豫算高	經常部豫算高	臨時部豫算高	經常部豫算高	臨時部豫算高	經常部豫算高	臨時部豫算高	經常部豫算高	臨時部豫算高
比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減	比較增減

第九、遊藝師匠	三〇、〇〇〇	六、〇〇〇	三〇、〇〇〇
十、按妓置屋	八七六、〇〇〇	八七六、〇〇〇	〇
十一、常設興行	八四〇、〇〇〇	八四〇、〇〇〇	〇
十二、臨時興行	二五〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	〇
十三、檢番	四〇〇、〇〇〇	三六〇、〇〇〇	一八〇、〇〇〇
第十四、檢番	四八、〇九一、三三二	三二、二八四、二六六	〇六、八〇七、〇六六
第三款、使用料	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇	〇
一、緊留料	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	〇
二、貨物陸上料	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	〇
三、碼頭使用料	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	〇
四、民船料	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	〇
五、舢板船料	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	〇
六、公會堂使用料	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	〇
七、道路使用料	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	〇
八、水道使用料	二九、〇二一、五〇〇	二九、〇二一、五〇〇	〇
九、土地貸下料	一六七、三三三、三三二	五九、七六六	〇六、六六三、五六六
十、市場貸下料	一〇、九八〇、〇〇〇	九七八〇、〇〇〇	〇
十一、墓地貸下料	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	〇
第四款、手数料	三九、六七五、〇〇〇	四一、七八五、〇〇〇	二、一一〇、〇〇〇
一、營業人力車	二五、〇九五、〇〇〇	二五、〇九五、〇〇〇	〇
二、營業馬車	四〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	〇
三、自用人力車	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	〇
四、自用馬車	一八〇、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	〇
五、自動馬車	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	〇
六、自動自轉車	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	〇
七、大車	七、五〇〇、〇〇〇	七、五〇〇、〇〇〇	〇
八、中車	六〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	〇
九、小車	二一〇、〇〇〇	二一〇、〇〇〇	〇
十、地車	八〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇
十一、行商車	三、〇〇〇、〇〇〇	四、四四〇、〇〇〇	一、四四〇、〇〇〇
第五款、財產出生收入	四九〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	三四〇、〇〇〇
一、水道公司配當金	二〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	〇
二、預金利息	二九〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	〇
第六款、授業料	二、一七五、〇〇〇	二、〇二五、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
一、授業料	二、一七五、〇〇〇	二、〇二五、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
第七款、雜收入	三、〇七二、〇〇〇	二、七一二、〇〇〇	三六〇、〇〇〇

大正六年國民事務報告書

第一、貸家料	一、八六〇、〇〇〇	一、八六〇、〇〇〇	〇
二、大和街撤水費	六〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	〇
三、暖房費	六〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	〇
四、雜收	五五〇、〇〇〇	一九〇、〇〇〇	三六〇、〇〇〇
計	一、六四〇、三六九、三三二	二、二二〇、二八六、二六六	四二〇、〇八三、〇六六
第一、前年度繰越金	金一五、五〇〇、〇〇〇	金一五、五〇〇、〇〇〇	〇
一、銀貨勘定	金一五、五〇〇、〇〇〇	金一五、五〇〇、〇〇〇	〇
二、金貨勘定	二四二、三七九、一三三	二四二、三七九、一三三	〇
第二、道路開修工費	一、四九一、八一	一、四九一、八一	〇
一、街路徵收金	八六七、一六	八六七、一六	〇
二、扶桑街徵收金	二七三、六〇	二七三、六〇	〇
三、橋立街徵收金	三五一、〇五	三五一、〇五	〇
第三、官有地拂下	一〇、一九八、一二	一〇、一九八、一二	〇
一、預金利息	一〇、一九八、一二	一〇、一九八、一二	〇
第四、準備金	四、八二七、七七	四、八二七、七七	〇
一、準備金	五二九、四五	五二九、四五	〇
二、慈善基金	六三三、七七	六三三、七七	〇
三、教育寄附金	一、五八六、九四	一、五八六、九四	〇
四、小學校建築基金	一、二二二、二四	一、二二二、二四	〇
五、兒童遊藝運動費	八五五、三七	八五五、三七	〇
第五、寄附金	二〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇	〇
一、寄附金	二〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇	〇
計	金三三、二一七、七〇	金三三、二一七、七〇	〇
合	金一九六、五八七、〇二	金一九六、五八七、〇二	〇
計	金三三、二一七、七〇	金三三、二一七、七〇	〇
第一、事務所費	一八、四五三、九六	一七、〇三四、三六	一、四一九、六〇
一、俸給及手当	一、八九九、〇〇	一、〇八五、四〇	一、〇五五、〇〇
二、備用品費	一五〇、〇〇	一〇〇、〇〇	五〇、〇〇
三、消耗品費	六四〇、六五	六四九、六五	九、〇〇
四、修善費	五七八、六〇	八〇九、〇〇	二三〇、四〇
本年度豫算額	一、六四〇、三六九、三三二	二、二二〇、二八六、二六六	四二〇、〇八三、〇六六
前年度豫算額	一、一七〇、三四、三六	一、一七〇、三四、三六	〇
比較増減	一、四一九、六〇	一、四一九、六〇	〇

(54)

(53)

五、印刷	四〇八、〇〇	三〇〇、〇〇	一〇八、〇〇
六、通信	九一、二〇	九一、二〇	
七、旅費	一五〇、〇〇	一五〇、〇〇	
八、公告	六〇〇、〇〇	三六〇、〇〇	二四〇、〇〇
九、家賃	八四〇、〇〇	六八四、〇〇	一五六、〇〇
十、保險	七九七、〇〇	七九七、〇〇	
十一、宿直	一八二、五〇	一八二、五〇	
十二、財源	一、五〇五、〇〇	一、五〇五、〇〇	
十三、法調	三〇〇、〇〇	三〇〇、〇〇	
十四、雜費	二五二、〇〇	二五二、〇〇	
第二、會費	三〇〇、〇〇	三〇〇、〇〇	
一、手給	一五〇、〇〇	一五〇、〇〇	
二、印刷	一四〇、〇〇	一四〇、〇〇	
三、雜費	五〇〇、〇〇	五〇〇、〇〇	
第三、土木	二七、九二二、二一	二七、九五九、〇五	
一、俸給	一、六二四、〇〇	一、五八二、〇〇	四二、〇〇
二、消耗品	一、九二二、〇〇	一、九二二、〇〇	
三、器具	八四〇、〇〇	八四〇、〇〇	
四、修費	一六、六三〇、八〇	一六、三六三、〇〇	二六七、八〇
五、撤水	三、六八七、七二	三、六八七、七二	
六、點燈	三、九一六、八六	四、一三三、五〇	二一六、六四
七、植樹	五〇〇、〇〇	五六〇、〇〇	六〇、〇〇
八、碼頭	五〇〇、〇〇	五〇〇、〇〇	
九、雜費	三〇六、八三	三〇六、八三	
第四、水道	二〇、一七一、二〇	二一、五七七、四五	一、四〇六、二五
一、俸給	五八五、〇〇	五四〇、〇〇	四五、〇〇
二、修繕	三〇〇、〇〇	一、八二四、〇〇	一、五二四、〇〇
三、メートル検査料	一五〇、〇〇	一五〇、〇〇	
四、器具	一五九、二〇	一五九、二〇	
五、水費	一八、八四六、〇〇	一八、八五二、七五	六、七五
六、雜費	一三一、〇〇	五一、五〇	七九、五〇
第五、教育	一〇、一三八、五三	一〇、一二四、四三	一四、一〇
一、俸給	三、七一五、八〇	三、七三六、〇〇	二〇、二〇
二、手給	三、五九八、〇〇	三、三四五、〇〇	二五三、〇〇
三、修繕	六八三、〇〇	六四五、〇〇	三八、〇〇
四、圖書	四八、五〇	四八、五〇	

(56)

(55)

五、校具	三〇〇、〇〇	三七〇、〇〇	七〇、〇〇
六、校具	一四六、五〇	四五五、〇〇	三〇八、五〇
七、消耗品	五七四、九〇	五五九、一〇	一五、八〇
八、旅費	二〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇	
九、通信	七三三、八〇	七三三、八〇	
十、保險	一〇五、〇〇	一〇五、〇〇	
十一、新聞雜誌	三七、二三	三七、二三	
十二、學團	二五、〇〇	二六、〇〇	一、〇〇
十三、研究會	五二〇、〇〇	四二〇、〇〇	一〇〇、〇〇
十四、雜費	八四八、八〇	八一四、八〇	三四、〇〇
第六、衛生	三、八九八、一〇	三、六五九、五五	二三八、五五
一、俸給	二、五三四、七〇	二、三三七、〇〇	一九七、七〇
二、被服	三〇〇、八〇	三〇〇、八〇	
三、消耗品	九〇〇、〇〇	九〇〇、〇〇	
四、藥品	一一五、八五	一二六、五〇	一〇、六五
五、器具	六二〇、〇〇	六二〇、〇〇	
六、修繕	七〇〇、〇〇	七〇〇、〇〇	
七、醫藥	六〇〇、〇〇	六〇〇、〇〇	
八、種痘	八〇、〇〇	八〇、〇〇	
九、市場	一九三、七五	一九三、七五	
十、野犬捕殺	一〇六、〇〇	五四、五〇	五一、五〇
十一、雜費	一五〇、〇〇	一五〇、〇〇	
第七、救助	二〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇	
一、救助	二〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇	
第八、警備	一八、七三七、四五	一六、五〇一、三六	二、二三六、〇九
一、俸給及手當	二、一〇七、一八	一〇、六八二、一八	一、四二五、〇〇
二、巡捕被服費	三、六五二、九〇	二、五八五、八〇	一、〇六七、一〇
三、巡捕用品費	六、一〇	三三、三〇	二七、九〇
四、巡捕宿舍料	六六六、〇八	六八四、〇八	一八、〇〇
五、巡捕宿料	八六四、〇〇	八六四、〇〇	
六、修繕	二八〇、二〇	二三五、〇〇	四五、二〇
七、巡捕藥費	二四〇、〇〇	二四〇、〇〇	
八、巡捕被服費	三一、五〇	三一、五〇	
九、巡捕器具費	一〇〇、〇〇	四四五、〇〇	三三五、〇〇
十、巡捕消耗品費	一〇一、八九	九二〇、〇〇	九八九
十一、消防	五〇二、五〇	四九四、五〇	八〇〇

(58) (57)

科 目	臨時部		比較增減
	本年度豫算額	前年度豫算額	
第十二、雜費	一、二〇、〇〇	一、一四、〇〇	六、〇〇
第九款、圖書館費	八八七、一〇	九〇七、九〇	二〇、八〇
一、俸給	三二五、〇〇	三二五、〇〇	〇
二、備用品費	五〇、〇〇	五〇、〇〇	〇
三、圖書費	三〇〇、〇〇	三〇〇、〇〇	〇
四、保險料	三七、五〇	三七、五〇	〇
五、消耗品費	一三六、六〇	一五七、四〇	二〇、八〇
六、雜費	三八、〇〇	三八、〇〇	〇
第十款、公園費	三、九一二、七四	四、一九七、三四	二、八四、六〇
一、俸給	一、六三七、〇〇	一、四一〇、〇〇	二、二五、〇〇
二、植樹費	五三五、五〇	九六三、五〇	四、二八、〇〇
三、肥料費	八二、〇〇	八二、〇〇	〇
四、器具費	一五六、五〇	九六、五〇	六〇、〇〇
五、消耗品費	一七六、四〇	一五五、八〇	二〇、六〇
六、修繕費	五六六、〇〇	六四八、二〇	八二、二〇
七、點燈費	四二八、八四	四八〇、三四	五一、五〇
八、用水費	二八三、五〇	二八三、五〇	〇
九、雜費	四七、〇〇	七五、五〇	二八、五〇
第十款、諸稅及負擔	二六二、〇四	三六、八四	二二五、二〇
一、地租	二六二、〇四	三六、八四	二二五、二〇
第十款、雜支	七〇〇、〇〇	七〇〇、〇〇	〇
一、雜支	七〇〇、〇〇	七〇〇、〇〇	〇
第十款、豫備費	二、九八四、三〇	二、四九六、五〇	四八七、八〇
計	一〇八、六七七、六三	一〇五、四八四、七八	三、一九二、八五
第一科、土木費	一六、四四一、〇〇	七九〇、五〇	一五、六五〇、五〇
一、下水滯延長費	一五、六八五、〇〇	三三四、〇〇	一五、三六一、〇〇
二、道路埋立費	七五六、〇〇	四六六、五〇	七五六、〇〇
〇、水道布設費	八二二、〇〇	八二二、〇〇	〇
第二款、水道費	八二二、〇〇	八二二、〇〇	〇
一、水道布設費	八二二、〇〇	八二二、〇〇	〇
第三款、教育費	七、四二二、八〇	七、四二二、八〇	〇
一、小學校分設費	七、四二二、八〇	七、四二二、八〇	〇
第四款、兒童運動場設置費	一、五〇〇、〇〇	一、五〇〇、〇〇	〇

(60) (59)

科 目	豫算額		備考
	入	出	
第五款、兒童運動場周圍煉瓦塀建築費	一、五〇〇、〇〇	〇	一、五〇〇、〇〇
一、傳染病豫防費	二、〇〇〇、〇〇	〇	二、〇〇〇、〇〇
第六款、公園費	三、五〇〇、〇〇	〇	三、五〇〇、〇〇
一、溫室內之水費	三五〇、〇〇	〇	三五〇、〇〇
第七款、補助及寄附費	三、三〇〇、〇〇	〇	三、三〇〇、〇〇
一、天津幼稚園	四〇〇、〇〇	〇	四〇〇、〇〇
二、天津共立學校	二、四〇〇、〇〇	〇	二、四〇〇、〇〇
三、商業會議所	五〇〇、〇〇	〇	五〇〇、〇〇
第八款、居留民團債費	四九、五六九、四八	〇	四九、五六九、四八
一、償還元債	一、〇〇〇、〇〇	〇	一、〇〇〇、〇〇
二、償還元債	四八、八九一、二五	〇	四八、八九一、二五
三、償還元債	二〇、六二二、二六	〇	二〇、六二二、二六
四、全債還元債	一三、〇五五、九七	〇	一三、〇五五、九七
第九款、土地費	三、〇一四、一一	〇	三、〇一四、一一
一、埋立費負擔額	二、五一四、一一	〇	二、五一四、一一
二、道路敷地買收費	五〇〇、〇〇	〇	五〇〇、〇〇
第十款、特別會計	二、〇〇〇、〇〇	〇	二、〇〇〇、〇〇
一、天津神社建設費	二、〇〇〇、〇〇	〇	二、〇〇〇、〇〇
二、官有地拂下準備金	金四、三七九、一三	〇	金四、三七九、一三
第十款、紀念會費	一、五〇〇、〇〇	〇	一、五〇〇、〇〇
一、紀念會費	一、五〇〇、〇〇	〇	一、五〇〇、〇〇
〇、官有地拂下資金	八七、九〇九、三九	〇	八七、九〇九、三九
計	金四、三七九、一三	〇	金四、三七九、一三
合 計	金四、三七九、一三	〇	金四、三七九、一三
科 目	入	出	備考
一、一般會計より繰入金	二四二、三七九、一三	〇	
二、利子收入	一一、九九七、七九	〇	
計	二五四、三七六、九二	〇	

(61)

科	一、官有地拂下代金	豫算	二四、三〇九、一三	備考	大正六年度分
計	二、一般會計へ繰入金	入	一一、九九七、七九		
		出	三六、三〇六、九二		
		入	六、一一四、一八		
科	一、前年度繰越金	豫算	四、一一四、一八	備考	天津神社建築費額
計	二、編入金	入	二、〇〇〇、〇〇		大正六年度民間支出額
		出	六、一一四、一八		
科	一、天津神社建築費	豫算	六、一一四、一八	備考	
計		出	六、一一四、一八		

(一) 大正六年度特別會計天津神社建築費歳入出豫算

第三、學務部

(一) 天津尋常高等小學校

(イ) 教育視察派遣

(62)

前年の例に據り本年度亦二名の教員を請職歸朝の序を以て本邦各府縣の教育狀況視察を爲さしむる事とし夏期休暇間に於て本田訓導を大阪府に派遣し全市の教育狀況を視察せしめ鈴木校長を京都に派遣し帝國大學講習會に出席せしめたるか本田訓導は六月二十六日當地出發八月二十二日歸任鈴木校長は六月二十八日當地出發八月三十一日歸任執事も視察の報告を爲した

(ロ) 水害に因る休業并に臨時教場開始

九月二十四日黎明の洪水は新舊教場を浸漬し授業開始不可能に至らしめたるを以て全日より十月九日に至る十六日間休業し十月十日に至り尋常科五年以上の児童を公會堂及民會議事堂に收容して授業を開始し全十一日より尋常四年以下の児童を共立學校に收容して授業せるか十一月二十五日よりは共立學校の假教室を閉鎖し尋常一、二、三年高等單級を分教場に尋常四、五、六年を公會堂及民會議事堂に收容して授業する事とせり

(ハ) 職員研究會

一月二十日、二十二日、二十七日及二十九日の四日に亘り松村訓導は小學校圖書教授法に就き研究報告せり

二月三日、五日、十日、十二日の四日に亘り井上訓導は最近教育事業の進歩に就き研究報告を爲せり

九月七日本田訓導は大阪市の教育狀況視察に就き報告せり

(63)

九月八日鈴木校長は京都帝國大學講習會に就き報告せり

(ニ) 寄附

本年天津尋常高等小學校へ寄附せられたる品目及人名を擧ぐれば左の如し

一、黠一尺指	八十本	村井延壽堂
一、扁額	一枚	富成一
一、蒸溜機關模型	一個	井月啓明
一、成績袋	三百枚	加藤市次郎
一、金百圓也	紀念文庫費へ	全加藤房恭子
一、金七圓六拾錢也	サンエヌ万年筆獎學資金	副華洋行
一、菓子	二百三十五包	和田嘉三郎

(ホ) 衛生

春秋二季に身体検査を執行し春季に種痘を施行せるは例年の如し身体検査に依れば疾病中最も多きは扁桃腺肥大にして前年秋季に於ては四十五名なりしも本年秋季に於ては十七名に減少せり

兒童の眼疾治療につきては前年十一月以後共立病院に於て治療を受け前年秋季には二十名本年秋季には十七名となり多少の減少を見たり、次に本年中に於て兒童の死亡せし者三名、猩紅熱に罹りし者三名腸室扶私に罹りし者一名あり、猩紅熱患者の發生せし都度全校兒童の健康診断を行ひ校舎内の消毒をなせり、其他兒童の家庭に傳染病患者發生したるときは其都度消毒を爲せり

(ヘ) 卒業生及生徒數

本年三月二十五日天津尋常高等小學校第十三回修業及卒業證書授與式を舉行し尋常科生十八名高等科生十三名に卒業證書を尋常科生百九十三名高等科生十六名に修業證書を授與せり而して本年中に於ける入退學生徒數は入學生徒百參拾九名退學生徒百五十四名にして差引拾五名の差を示し例年に比し退學者數多きの感あるもこれは退學者中二十二名の高等二年卒業を含めると十月以降出水の爲め歸國せる者多きに起因す本年末現在生徒數左の如し

(64)

	尋常一年	全三年	全四年	全五年	全六年	高等一年	全二年	合計
男	二二三	一八一	一九	二〇	一八	一〇	二八	一一〇
女	二二六	二四	一五	一五	一七	七	一一一	一一一
計	四四九	四二	三四	三五	三五	一七	九	二二一

(ト) 職員

田川正村訓導は四月三十日附を以て五級上俸に鈴木校長は八月二十一日を以て四級上俸に本田訓導は同日附を以て五級下俸に就れども昇級の辭令を交付せらる

職員現在の如し

(66) (65)

<p>本年一月圖書館規則第七條に依り左の諸氏に評議員を嘱託せり</p> <p>(一) 評議員</p> <p>(二) 日本圖書館</p> <p>(三) 評議員</p> <p>右の内植松評議員は八月離津の爲の辭任せり其後補缺を行はざりき</p> <p>(四) 洪水に因る休館</p>											
<p>本年一月圖書館規則第七條に依り左の諸氏に評議員を嘱託せり</p> <p>(一) 評議員</p> <p>(二) 日本圖書館</p> <p>(三) 評議員</p> <p>右の内植松評議員は八月離津の爲の辭任せり其後補缺を行はざりき</p> <p>(四) 洪水に因る休館</p>											
<p>九月二十四日の居留地洪水に因り本館は救護事務所で使用せられ全日より十一月十五日まで閉館せりと雖も其間請求ありたる場合は館外借覽貸出を爲したり</p> <p>(ハ) 購入及寄贈書籍</p> <p>本年中購入せる書籍数は武家事記外七十冊雑誌太陽外六百二十三冊豫約注文のもの俳句の研究外六拾四部にして寄贈を得たるは日露戦史外壹百二十六冊なりとす又小幡文庫に属する購入書籍の到着せるは廣文庫十一冊群書索引二冊にして購入豫約を申込たるは支那省別全誌一部なり</p> <p>(ニ) 圖書閱覽者</p> <p>本年中圖書閱覽人員左の如し</p>											
<p>本年一月圖書館規則第七條に依り左の諸氏に評議員を嘱託せり</p> <p>(一) 評議員</p> <p>(二) 日本圖書館</p> <p>(三) 評議員</p> <p>右の内植松評議員は八月離津の爲の辭任せり其後補缺を行はざりき</p> <p>(四) 洪水に因る休館</p>											
<p>本年一月圖書館規則第七條に依り左の諸氏に評議員を嘱託せり</p> <p>(一) 評議員</p> <p>(二) 日本圖書館</p> <p>(三) 評議員</p> <p>右の内植松評議員は八月離津の爲の辭任せり其後補缺を行はざりき</p> <p>(四) 洪水に因る休館</p>											

月次	一	二	三	四	五	六	七
館内	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七
館外	九、四	九、四	九、四	九、四	九、四	九、四	九、四
増比	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三
減比	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七
五年	四、五	四、五	四、五	四、五	四、五	四、五	四、五
六年	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇
増比	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
減比	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三

(68) (67)

<p>大福里街大文洋行周壁建設の願出に對し左記二條件の下に許可せり</p> <p>一、租界局に於て將來道路側溝築造の際其の外側壁に利用し得る機施工し置くこと</p> <p>二、此際租界局に於て相當の價格を査定し大文洋行に之を支持ふものとす</p> <p>(二) 撤水區域</p> <p>各街共前年度通りにて増減なし</p> <p>(三) 道路補修工事</p> <p>本工事は緩急に適應して漸次施工するの計畫を以て先づ山口街と旭街との間に介在する各街を補修中遇水害を被り浸水區の履歷に多大の日數を費せし爲め遂に初期の目的は達し得ざりき</p> <p>(四) 街樹の補植</p> <p>四月九日より同十五日迄の期間に各街に補植せし樹木数は二百本にして内旭街百十本壽街二十本榮街二十五本花園街十八本秋山街十本宮島街十二本福島街五本なり</p> <p>(五) 下水溝築造工事</p> <p>大福里、宮島街、浪花街、松島街、租界局宿舍脇に總延長四千三百六十四尺の下水溝築造工事は公入札の結果工費銀五千八百四十一兩五十五仙にて六月八日村津市之助と契約を締結し三十日間の期限を以て起工し七月七日竣功せり</p> <p>(六) 福島街暗渠築造工事</p> <p>福島街の内旭街交差點より白河に至る延長約百四十間、旭街の内吾妻街交差點より軍病院裏手迄延長約百十三間の暗渠築造工事は公入札の結果工費銀七千八百兩にて五月十八日楊瑞三と契約を締結し六十日間の期限にて起工せしも水害の爲め十二月二十五日迄延期せり尤も排水工事中は充分其の効果を奏せり</p> <p>(七) 天津小學校分校舎建築工事</p> <p>校舎建築坪百十六坪七、附屬家建坪二十六坪五、周壁百八十九間九の建築工事は公入札の結果工費銀壹萬〇四百兩にて五月十一日宮嶋興作と契約を締結し四ヶ月間の期限にて起工し九月十日竣工せり</p>											
<p>大福里街大文洋行周壁建設の願出に對し左記二條件の下に許可せり</p> <p>一、租界局に於て將來道路側溝築造の際其の外側壁に利用し得る機施工し置くこと</p> <p>二、此際租界局に於て相當の價格を査定し大文洋行に之を支持ふものとす</p> <p>(二) 撤水區域</p> <p>各街共前年度通りにて増減なし</p> <p>(三) 道路補修工事</p> <p>本工事は緩急に適應して漸次施工するの計畫を以て先づ山口街と旭街との間に介在する各街を補修中遇水害を被り浸水區の履歷に多大の日數を費せし爲め遂に初期の目的は達し得ざりき</p> <p>(四) 街樹の補植</p> <p>四月九日より同十五日迄の期間に各街に補植せし樹木数は二百本にして内旭街百十本壽街二十本榮街二十五本花園街十八本秋山街十本宮島街十二本福島街五本なり</p> <p>(五) 下水溝築造工事</p> <p>大福里、宮島街、浪花街、松島街、租界局宿舍脇に總延長四千三百六十四尺の下水溝築造工事は公入札の結果工費銀五千八百四十一兩五十五仙にて六月八日村津市之助と契約を締結し三十日間の期限を以て起工し七月七日竣功せり</p> <p>(六) 福島街暗渠築造工事</p> <p>福島街の内旭街交差點より白河に至る延長約百四十間、旭街の内吾妻街交差點より軍病院裏手迄延長約百十三間の暗渠築造工事は公入札の結果工費銀七千八百兩にて五月十八日楊瑞三と契約を締結し六十日間の期限にて起工せしも水害の爲め十二月二十五日迄延期せり尤も排水工事中は充分其の効果を奏せり</p> <p>(七) 天津小學校分校舎建築工事</p> <p>校舎建築坪百十六坪七、附屬家建坪二十六坪五、周壁百八十九間九の建築工事は公入札の結果工費銀壹萬〇四百兩にて五月十一日宮嶋興作と契約を締結し四ヶ月間の期限にて起工し九月十日竣工せり</p>											
<p>大福里街大文洋行周壁建設の願出に對し左記二條件の下に許可せり</p> <p>一、租界局に於て將來道路側溝築造の際其の外側壁に利用し得る機施工し置くこと</p> <p>二、此際租界局に於て相當の價格を査定し大文洋行に之を支持ふものとす</p> <p>(二) 撤水區域</p> <p>各街共前年度通りにて増減なし</p> <p>(三) 道路補修工事</p> <p>本工事は緩急に適應して漸次施工するの計畫を以て先づ山口街と旭街との間に介在する各街を補修中遇水害を被り浸水區の履歷に多大の日數を費せし爲め遂に初期の目的は達し得ざりき</p> <p>(四) 街樹の補植</p> <p>四月九日より同十五日迄の期間に各街に補植せし樹木数は二百本にして内旭街百十本壽街二十本榮街二十五本花園街十八本秋山街十本宮島街十二本福島街五本なり</p> <p>(五) 下水溝築造工事</p> <p>大福里、宮島街、浪花街、松島街、租界局宿舍脇に總延長四千三百六十四尺の下水溝築造工事は公入札の結果工費銀五千八百四十一兩五十五仙にて六月八日村津市之助と契約を締結し三十日間の期限を以て起工し七月七日竣功せり</p> <p>(六) 福島街暗渠築造工事</p> <p>福島街の内旭街交差點より白河に至る延長約百四十間、旭街の内吾妻街交差點より軍病院裏手迄延長約百十三間の暗渠築造工事は公入札の結果工費銀七千八百兩にて五月十八日楊瑞三と契約を締結し六十日間の期限にて起工せしも水害の爲め十二月二十五日迄延期せり尤も排水工事中は充分其の効果を奏せり</p> <p>(七) 天津小學校分校舎建築工事</p> <p>校舎建築坪百十六坪七、附屬家建坪二十六坪五、周壁百八十九間九の建築工事は公入札の結果工費銀壹萬〇四百兩にて五月十一日宮嶋興作と契約を締結し四ヶ月間の期限にて起工し九月十日竣工せり</p>											
<p>大福里街大文洋行周壁建設の願出に對し左記二條件の下に許可せり</p> <p>一、租界局に於て將來道路側溝築造の際其の外側壁に利用し得る機施工し置くこと</p> <p>二、此際租界局に於て相當の價格を査定し大文洋行に之を支持ふものとす</p> <p>(二) 撤水區域</p> <p>各街共前年度通りにて増減なし</p> <p>(三) 道路補修工事</p> <p>本工事は緩急に適應して漸次施工するの計畫を以て先づ山口街と旭街との間に介在する各街を補修中遇水害を被り浸水區の履歷に多大の日數を費せし爲め遂に初期の目的は達し得ざりき</p> <p>(四) 街樹の補植</p> <p>四月九日より同十五日迄の期間に各街に補植せし樹木数は二百本にして内旭街百十本壽街二十本榮街二十五本花園街十八本秋山街十本宮島街十二本福島街五本なり</p> <p>(五) 下水溝築造工事</p> <p>大福里、宮島街、浪花街、松島街、租界局宿舍脇に總延長四千三百六十四尺の下水溝築造工事は公入札の結果工費銀五千八百四十一兩五十五仙にて六月八日村津市之助と契約を締結し三十日間の期限を以て起工し七月七日竣功せり</p> <p>(六) 福島街暗渠築造工事</p> <p>福島街の内旭街交差點より白河に至る延長約百四十間、旭街の内吾妻街交差點より軍病院裏手迄延長約百十三間の暗渠築造工事は公入札の結果工費銀七千八百兩にて五月十八日楊瑞三と契約を締結し六十日間の期限にて起工せしも水害の爲め十二月二十五日迄延期せり尤も排水工事中は充分其の効果を奏せり</p> <p>(七) 天津小學校分校舎建築工事</p> <p>校舎建築坪百十六坪七、附屬家建坪二十六坪五、周壁百八十九間九の建築工事は公入札の結果工費銀壹萬〇四百兩にて五月十一日宮嶋興作と契約を締結し四ヶ月間の期限にて起工し九月十日竣工せり</p>											

月	八	九	十	十一	十二月	計
一	一五七	一〇〇	七八	二二	五七	三二
二	一〇〇	七八	二二	五七	三二	四三
三	七八	二二	五七	三二	四三	七三
四	二二	五七	三二	四三	七三	四一
五	五七	三二	四三	七三	四一	六一
六	四三	七三	四一	六一	五二	四一
七	三二	四一	六一	五二	四一	五二
八	二二	五七	三二	四三	七三	六一
九	五七	三二	四三	七三	四一	六一
十	四三	七三	四一	六一	五二	四一
十一	七三	四一	六一	五二	四一	五二
十二	四一	五二	四一	五二	四一	五二
計	一〇五八	九七七	二〇〇	二六一	四八三	四〇一

(70) (69)

(八) 大和公園
入園者制限

入園支那人取締に關しては前年の例に倣ひ支那官憲其他知名の者には租界局より入園券を交付し一般支那人は午後六時以後入園を許可せざる事とし園丁二名をして常に園内取締を爲さしめ且總領事館警察署と協議し夏期中左記の配置巡捕をして入園者取締に従事せしむ

福島街見張巡捕 晝 夜
宮島街正門 自午後六時
至全十二時
消防巡捕長 午前十時より午後五時迄隨時巡邏
午後六時より全 十時迄繼續巡邏

(九) 常備苦力の増加

從來園内樹木灌水又は除草に際し手不足の場合は隨時若干の苦力を雇入れ北匠指揮の下に立働かしめ來りたるか園藝上何等心得無きもの多く且夏期早朝の掃除に關し不便尠からされは八月中旬より試験的に臨時雇苦力費の豫算範圍に於て五名の園藝に經驗ある常備苦力を置き左の勞働時間割に従ひ使役せるに其成績頗る優良なるを認めたり

自午前五時至全八時 園内道路掃除及ベンチ拭
自午前八時至全九時 朝食及休憩
自午前九時至正午 就 業
自正午至午後二時 晝食及休憩
自午後二時至全七時 就 業

(ハ) 水害に因る損傷樹木及器具
本年九月二十四日以後の洪水に因り園内の被れる損害尠からず出水當時の最高水深は音楽室附近にて一尺六寸五分公會堂裏附近にて二尺七寸に達し樹木の枯死せるもの山桃外拾九種にして其數二百八十三株に及び葡萄棚、ベンチ、貯水池、木柵便所等亦多少の破損を被れり

第五、衛生部

(一) 傳染病患者
本年年中に於ける傳染病患者數は總數八十一名(内本邦人七十五名支那人五名朝鮮人一名)にして民間創立以來の大流行を來せり是を昨年患者數に比すれば二十六名又一昨年比すれば六十九名の多きに達せり其状況を略説すれば一月二十四日壽街に猩紅熱患者一名(支那人)發生せしを始めとし二月中にはバラチプス患者一名(本邦人)

(72) (71)

猩紅熱患者二名(本邦人)天然痘患者一名(本邦人)三月中に實扶的里亞患者一名(本邦人)腸室扶斯患者一名(本邦人)四月中には猩紅熱患者四名(本邦人)三名支那人一名實扶的里亞患者一名(支那人)五月中に猩紅熱患者四名(本邦人)腸室扶斯患者一名(本邦人)實扶的里亞患者一名(本邦人)六月中に赤痢患者一名(本邦人)猩紅熱患者一名(本邦人)七月中にバラチプス患者一名(本邦人)赤痢患者一名(本邦人)腸室扶斯患者二名(本邦人)八月中に赤痢患者二名(本邦人)腸室扶斯患者八名(本邦人)猩紅熱患者一名(本邦人)バラチプス患者一名(本邦人)九月中に腸室扶斯患者十二名(本邦人)猩紅熱患者二名(本邦人)赤痢患者一名(本邦人)十月中に猩紅熱患者一名(本邦人)腸室扶斯患者九名(本邦人)赤痢患者一名(本邦人)十一月中に腸室扶斯患者十名(本邦人)九名朝鮮人一名(天然痘患者二名(本邦人)赤痢患者一名(支那人)十二月中に腸室扶斯患者一名(本邦人)天然痘患者四名(内三名本邦人一名支那人)猩紅熱患者一名(本邦人)赤痢患者一名(本邦人)を出したり今年中に於ける患者の轉歸を掲ぐれば左表の如し

大正六年傳染病患者轉歸表

病名	患者數	治愈	死亡
猩紅熱	一七	一五	二
腸室扶斯	四三	四〇	三
天然痘	七	五	二
赤痢	七	三	四

前項記載の如く本年は各種傳染病續發し殊に腸室扶斯の如きは其數例年に見ざる處にして漸次尙續發の傾向ありしを以て此際公衆衛生法の勵行と各個人の自衛と相俟て病毒の蔓延を防ぎ之が撲滅を期せんとして左記豫防心得書を各戸(日支人)に配付し衛生上注意を促したり

室扶斯豫防方法

一、室扶斯には數種あるも目今當地方に流行しつつあるは腸室扶斯にして山海關及北京方面より來る少數患者はバラチプスに屬せり而して本病は以上各種の病毒を含め飲食物殊に飲用水より來るもの多しと雖も凡ての病毒は身体の衰弱に付け込むものなれば常に健康に留意し腸胃を傷め病毒に侵さるゝ如き誘因を作らざる様下記各項を嚴守すべきこと
二、凡て病氣には相當の潜伏期あるものにして腸室扶斯の如きは(平均十四日)感染當時は何人も之を知らざるも先驅症として全身倦怠、頭重、食欲缺損、四肢疼痛、睡眠不穩等の事あり次第で悪寒、發熱、大渴引飲、舌唇乾燥、煤色苔、便秘或は下痢(碗豆汁如き便)等の症狀あるものなれば身体に違和を生じたる場合は速かに醫師の診察を受けること

バラチプス 實扶的里亞

計	八	三	三	一
計	八一	六九	一一	

九、家に依つては残飯を乞食に與ふため不斷炊事口に乞食の來往するものあるは如何にも危険なれば之を嚴禁すること

一〇、阿媽は小兒を伴れ不潔の場所に立入り又は汚染した菓子等を家庭以外に於て取らしむること除らしからざるに依り使用主に於て最も留意すること

一一、炊事場、浴場、便所、汚物溜、汚水溜、既舎等は不潔に陥り易きを以て絶えず清潔ならしめ隨時消毒薬品を撒布すること其他靴の儘昇降する場所は時々消毒薬を撒布したる後清掃すること

一二、苦力を使用するものは常に其健康状態に注意し且つ可成不潔なる支那人の接近を避くべきこと

又左に既往五ヶ年間に於ける傳染病患者一覽表を掲げて參考に供す

自大正元年
至大正六年
六ヶ年間に於ける傳染病患者一覽表

病名	大正元年	大正二年	大正三年	大正四年	大正五年	大正六年
天然痘	者全 治全	者全 治全	者全 治全	者全 治全	者全 治全	者全 治全
實扶的里亞	者全 治全	者全 治全	者全 治全	者全 治全	者全 治全	者全 治全
腸室扶斯	六 四	二 二	一 一	一 一	一 一	一 一

三、熱性病に罹りたるものあるときは本人又は家族宿主若し主治醫より速かに醫察署に届出づべき旨明治四十四年一月館令第一號の發布あるを以て違背(届出は電話にて差支なし)せざる様注意すべきこと

四、水道水は清潔なりとして其備用ふるは嚴に慎むべし殊に運搬用及自宅備付水槽の掃除不充分の爲め病毒の發生を見ることあるべきを以て時に水槽を清掃し日光に曝露し且つ飲用、合嗽用並に食器洗滌に供するものは必ず煮沸したるものを使用すること

五、野菜は支那人が小川又は瀆水其他の汚水にて洗滌し來るものあり自然病毒の附着を免れず頗る危険なるを以て決して生まにて食せざること生漬も亦危険あり又果實類即ち梨子、葡萄の如きは蒼蠅の付易きものにして危険多きを以て熱湯にて可啣に洗滌し且つ皮を剥ぎ其すること肝要なり野菜、果物の容器及取扱者の手は最後に清潔に洗ふこと

六、牛乳は重に支那人の搾取に係り自然不潔物の混入を免れざるべきに付き必ず五分間沸騰したる後用ふること

七、蠅は病毒傳播の媒介をなすものなれば飲食物、食器には覆蓋をなし食堂、炊事場、便所、塵溜等を集まる蠅は可成驅除に力むべきこと

八、衣服、寝具を日光に曝露するは殺菌の良法なるを以て晴天の際時々之を行ふこと

猩紅熱患者

入院月日	入院期間	男女別	年齢	轉歸
二月二日	二十日間	女	二十四歳	全治
二月十五日	二十六日間	女	十一歳	全治
四月五日	三十一日間	男	六歳	全治
四月六日	三十日間	男	二十七歳	全治
四月九日	四日間	女	三歳	全治
五月五日	三十九日間	女	七歳	死亡
五月二十八日	二十九日間	男	十二歳	全治
五月三十一日	三十二日間	男	十一歳	全治
六月二十一日	二十九日間	女	七歳	全治
九月八日	十五日間	男	二十七歳	全治
九月二十七日	二十六日間	女	八歳	全治
	二十九日間	女	二十四歳	治療中

(三) 清潔法施行

本年中に於ける租界内清潔法は例年の如く春秋二季に施行せり而して春季は五月一日より十四日迄十四日間秋季は十月一日より施行の筈なりしも出水のため此間に於て施

巴拉チブス

計	二八二	四一四	一五〇	二〇五	二〇七	三三三	二五三	二五五	二八六	二九二
虎列刺	四	四								
猩紅熱	一	一								
疑似猩紅熱										
赤痢	二	一								
疫痢	一	一								
發疹室扶斯										
計	二八二	四一四	一五〇	二〇五	二〇七	三三三	二五三	二五五	二八六	二九二

(二) 傳染病室の開設

昨年十二月一日收容せる患者は全年未迄に全治に至らず本年一月十五日漸く退院したるにつき一時傳染病室を閉鎖したるも前項の如く多數の猩紅熱患者發生せるため本年二月二日初發以來四度開設するの已むなきに至れり而して該病室に收容せる患者は一名死亡せる外他は經過良好にして悉く退院し又九月九日收容せし患者は全月二十三日出水のため該病室にて治療する能はず二十四日午前三時同仁病院に避難治療せしめたり又十二月二日壽街に天然痘患者發生せしに因り該患者附添人及看護婦を傳染病室に收容一週間の隔離を爲し引續き遊病室を開設せるか十二月二十七日に至り更に猩紅熱患者發生し遂に本年末は傳染病室を閉鎖する能はさき左に傳染病室收容の猩紅熱患者に對する收容期間並に轉歸を掲げ參考に資す

行する事能はざりしを以て排水後十月十二日より十二月二日に至る五十二日間浸水家屋の消毒並に道路及び下水溝の大掃除を行ひ其都度告示を以て一般居住者に施行日割を示し且つ心得書を各戸に配布し施行したるに頗る好成績を得たり

(四) 種痘施行

例年の通り本年の種痘は四月五日より全八日迄四日間公會堂に於て本邦人の種痘を行ひ支那人に對しては四月十六日より二十日迄五日間德義樓天安里通潔扇天仙茶園同慶茶園共立學堂等へ便宜出張施行せり今其種痘人員を掲ぐれば左の如し

日本人 六百五十八名
支那人 四百二十五名

(五) 野犬捕殺

狂犬豫防上毎年租界内野犬捕殺を勵行しつゝありしが當租界の支那街に隣接せるため年々其の數を増し到底撲滅し盡す能はざる状態なりしも極力之れを捕殺に努めたる結果本年一月より十二月迄七百四十頭を捕殺したり是れを昨年比すれば二百七十九頭を減したり

(六) 傳染病室の修繕

本年九月出水の爲め傳染病室周圍板壁及病室其他に破損を生し患者を收容し能はざるに至るに因り病室の一部にペンキ塗換及床板の新調等應急の修繕を施し尙山西地方

にベスト蔓延の兆ありしを以て豫防準備上周圍板壁其他夫々修繕を加へたり

(七) 水道水の検査

天津濟安自來水公司と本民間との間に締結せる水道給水契約に據り本年十二月上旬全公司より其立病院に依頼し検査を爲したる水道水細菌検査の成績を掲ぐれば左の如し

大正六年十二月上旬
左の四ヶ所の水中細菌數を検す

- 一、河水 於ける箇數 三、二五〇〇 (水道水門の入口前の河水即源水)
- 二、池水 同 九一九 (自淨池の最終部に於ける水)
- 三、淨水 同 一七六 (濾過直後貯水池に於ける水)
- 四、日水 同 二二四 (日本租界軍病院水道栓水)

(八) 水道給水量

本年十二月末に於ける居留地内専用水道使用者數は本邦人壹百貳拾貳戸支那人貳拾五戸合計壹百四拾六戸にして之を前年に比すれば拾壹戸の増加を示せり而して本年中給水せる専用水道及其用水道給水量を合算すれば三千八百九十八萬五千八百拾貳瓦魯にして之を昨年比すれば壹百貳拾貳萬五千參百五十瓦魯の増加を示し九月二十四日以來二ヶ月間に亘る居留地浸水あるも其消費量に何等影響を示さざるは蓋し水災救護會に於

(78)

(77)

て極力配水の便を執り居留民をして毫も不自由を感せざらしめたるの結果なるへし今既往十ヶ年間に於ける給水量を掲ぐれば左の如し

年 別	給 水 量
明治四十一年	一〇、六九八、三九〇瓦魯
明治四十二年	一二、二〇四、九四〇瓦魯
明治四十三年	一三、二七七、二七〇瓦魯
明治四十四年	一九、四一〇、一七〇瓦魯
明治四十五年	二三、九二三、六一〇瓦魯
大正元年	三一、〇〇三、九二〇瓦魯
大正二年	三八、一九五、九四〇瓦魯
大正三年	三三、六二四、七八六瓦魯
大正四年	三七、七五九、四六〇瓦魯
大正五年	三八、九八五、八一〇瓦魯
大正六年	以上

大正六年二月
天津居留民團
行政委員會議長 鈴木敬親

(79)

附 錄

天津居留民團財產明細書(大正六年十二月末日現在)

資 産 ノ 部	(借 方)
一 銀貳拾壹萬四千五百七拾貳弗五拾九仙也 土 地	
內 譯	
銀貳千八百六拾參弗六拾仙五厘	共同墓地 (五、七三九、三二〇)
銀壹千參百七拾貳弗六拾壹仙五厘	小學校敷地 (一、六七四、三三〇)
銀壹千八百弗	舊本願寺布敷所敷地 (五九八、四〇〇)
銀貳拾萬六千零貳拾貳弗六拾六仙	拂下官有地 (四一、八二八、六〇〇)
銀貳千五百拾四弗拾壹仙	舊正南河跡 (八七、二五〇)
一 銀拾五萬參千六百六拾四弗零四仙也 建 物	
內 譯	
銀壹萬七千五百七拾七弗八拾壹仙	天津小學校々舎及宿舍(二五七、一八一)
銀參千壹百九拾八弗六拾八仙	同校門及扉其他附屬建物

(80)

<p>銀九百八拾弗 銀壹千五百弗 銀貳千參百貳拾弗 一銀貳萬七千六百零七弗六拾八仙也</p> <p>內 譯 銀七千四百四拾八弗四拾壹仙 銀壹萬四千六百九拾七弗八拾貳仙 銀壹千六百九拾九弗九拾壹仙 銀七拾四弗參拾貳仙 銀貳百八拾七弗七拾貳仙 銀參千四百零八弗五拾仙 一銀五萬六千八百八拾六弗六拾八仙也</p> <p>內 譯 銀壹萬零八百九拾六弗四拾四仙 銀參百九拾參弗六拾七仙 銀壹萬四千七百五拾弗七拾參仙</p> <p>事務所備品 (七三二点) 會議室備品 (七三三点) 土木器具 (二二三三点)</p>	<p>銀貳千壹百五拾五弗 銀八千九百弗 銀壹千五百弗 銀七百九拾壹弗六拾仙 銀七百拾貳弗零九仙 銀參百貳拾弗 銀八千九百五拾弗 銀四千壹百四拾八弗 銀五千七百參拾五弗 銀參千壹百貳拾八弗八拾六仙 銀壹千弗 銀九百五拾九弗 銀七萬零壹百貳拾四弗八拾四仙 銀壹萬四千四百弗 銀五千貳百六拾參弗六拾六仙</p> <p>同上屋內機場 (四五〇〇) 同上分校舍及附屬家 (二四六二七〇) 兒童運動場周圍煉瓦塀 (二〇二八〇) 傳染病室附屬舍及病理解研究所 (二〇二八〇) 消防器具置場 (二七〇六〇) スチームローラー置場 (二五〇〇〇) 棧橋 (二五〇〇〇) 大和公園門塀及附屬建物 菜市場 伊集院紀念音樂堂 汚水棄却場 二ヶ所 墓地門扉及周圍煉瓦塀 民團事務所公會堂圖 書館俱樂部附屬家屋 (四八五三七〇) 民團吏員教員宿舍及附屬家屋 (二九二二三八) 暖房</p> <p>民團事務所附屬倉庫 (二四〇〇〇) 全上正門 (二九二四九) 公園係員其他宿舍 (二九二四九) 水道</p>
--	--

<p>一銀壹百參拾八弗參拾六仙也 計 銀六拾七萬壹千七百參拾弗零參仙也 〔金貳拾貳萬壹千七百七拾五弗四拾壹仙也〕</p> <p>負債ノ部 (貸方) 第一團債(正金銀行ヨリ借入金) 一銀六萬七千弗也 一銀拾九萬五千七百弗也 一銀貳拾萬四千貳百七拾九弗五拾七仙也 一銀四千貳百零六弗六拾九仙也 一銀貳拾壹萬八千零七拾圓也 一銀貳拾萬零五百四拾參弗七拾七仙也 一銀參千七百零五圓四拾壹錢也 計 一銀六拾七萬壹千七百參拾弗零參仙也 〔金貳拾貳萬壹千七百七拾五圓四拾壹錢也〕</p> <p>以上</p>	<p>銀壹千九百七拾六弗六拾六仙 銀六千貳百零壹弗六拾九仙 銀六百貳拾七弗 銀四千零百六拾四弗零四仙 銀四百五拾貳弗 銀六千九百八拾參弗零參仙 銀四千貳百四拾貳弗參拾六仙 銀貳千六百四拾五弗五拾仙 銀貳千壹百八拾參弗四拾八仙 銀壹百七拾壹弗 銀壹千八百貳拾九弗五拾八仙 銀參千五百貳拾四弗貳拾參仙也 一銀參千七百零五圓四拾壹錢也 一銀貳拾萬弗也 一銀四千貳百零六弗六拾九仙也 一銀貳拾壹萬八千零七拾七仙也 一銀壹萬壹千壹百貳拾九弗七拾六仙也</p> <p>水道器具 (二二点) 小學校備器 (三、五五〇点) 衛生器具 (五八八点) 巡捕貸與品 (六一三三点) 巡捕備品 (三八六六六) 消防器具 (二五三三三) 圖書館圖書 (四、四三七七点) 全備品 (一九一一点) 傳染病室備品 (六五七七点) 碼頭器具 (九点) 公園器具 (一八九九点)</p> <p>有價證券 假拂金 特別當座預金 當座預金</p>
--	---

